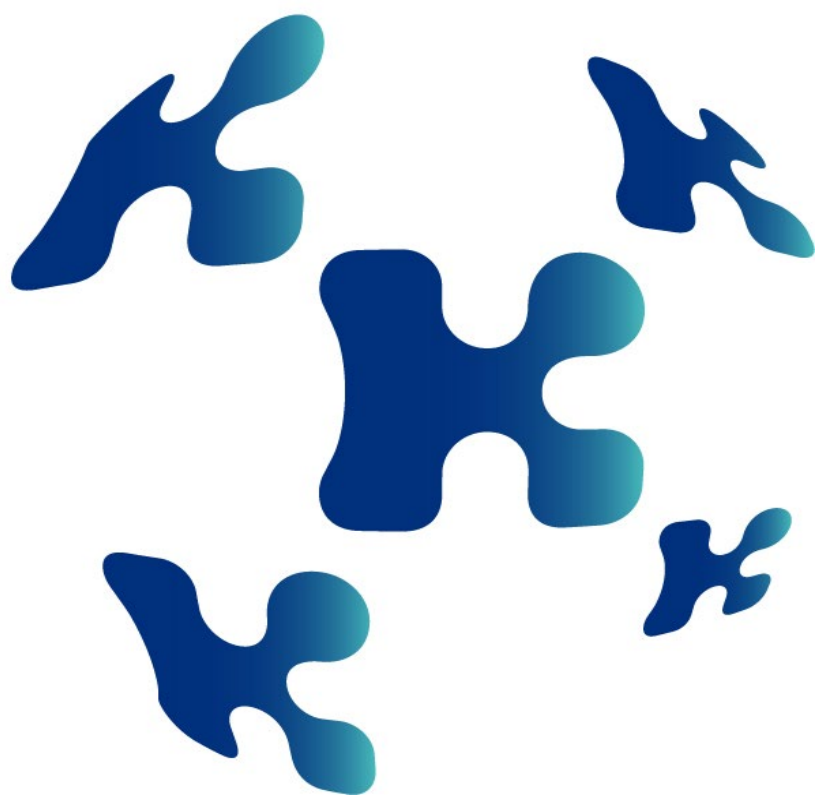


授業概要
Syllabas 2025
作業療法学専攻
(1年次)



高知健康科学大学
University of Kochi Health Sciences

健康科学部 リハビリテーション学科 シラバス 目次 (1年次)

時間割 (前期・後期)		2
教養基礎科目		頁
初年次科目	ラーニングリテラシー	4
	情報リテラシー	6
	初年次IPE演習	8
人間の探求	人間科学概論	10
	心理学	13
	生命倫理学	16
	医療人類学	18
社会の探求	社会学概論	20
	情報と社会	23
	法律と社会	25
	教育と社会	26
自然の探求	データサイエンス	
	災害と共に生きる	29
	ライフサイエンス生物学	31
	バイオメカニクス	33
言語の探求	基礎英語	35
	コミュニケーション論	37
	コミュニケーション英語	40
	異文化コミュニケーション (中国語)	42
保健体育	スポーツ実践	44

専門基礎分野		頁
リハビリ テーション 基礎医学	解剖学Ⅰ	48
	解剖学Ⅱ	51
	骨学筋学Ⅰ	54
	骨学筋学Ⅱ	56
	体表解剖学	
	組織学	
	生理学Ⅰ	58
	生理学Ⅱ	61
	生理学演習Ⅰ	64
	生理学演習Ⅱ	66
	応用解剖生理学	
	身体運動学Ⅰ	68
	身体運動学Ⅱ	71
	運動生理学	
	人間発達学	74
	脳科学概論	
	医学英語	
臨床医学	病理学	77
	リハビリテーション医学	79
	内科学	
	神経内科学	
	整形外科学	
	精神医学	
	小児科学	
	臨床心理学	
	臨床栄養学	
	臨床薬理学	
	救急救命処置演習	
保健医療 福祉	リハビリテーション概論	81
	健康科学概論	
	社会福祉学概論	
	災害リハビリテーション	
	国際リハビリテーション学	
	福祉住環境論	

専門分野 (理学療法学専攻)		頁
基礎 理学療法学	理学療法学概論	
	運動分析学	
	理学療法管理学	
	理学療法教育学	
理学療法 評価学	理学療法評価学	
	理学療法評価学実習	
	形態評価学実習	
	筋機能評価学実習	
	神経機能評価学実習	
	生理機能評価学実習	
理学療法 治療学	運動療法学	
	運動療法学実習	
	物理療法学	
	物理療法学実習	
	日常生活活動学	
	日常生活活動学実習	
	装具学	
	義肢学	
	神経理学療法学Ⅰ	
	神経理学療法学Ⅱ	
	神経理学療法学実習	
	運動器理学療法学Ⅰ	
	運動器理学療法学Ⅱ	
	運動器理学療法学実習	
	スポーツ理学療法学	
	小児理学療法学	
	呼吸器理学療法学	
	循環器理学療法学	
	代謝理学療法学	
地域 理学療法	地域リハビリテーション学	
	地域理学療法学	
	多職種連携教育	

専門分野 (作業療法学専攻)		頁
基礎 作業療法学	作業療法学概論	84
	基礎作業学	87
	基礎作業学実習	
	作業分析学	
	作業療法管理学	
	作業療法教育学	
	作業療法評価学	89
	作業療法評価学実習	
	身体機能評価学実習	92
	精神機能評価学実習	
作業療法 治療学	神経機能評価学実習	
	発達機能評価学実習	
	身体機能作業療法学Ⅰ	
	身体機能作業療法学Ⅱ	
	身体機能作業療法学実習	
	高次脳機能作業療法学	
	精神機能作業療法学Ⅰ	
	精神機能作業療法学Ⅱ	
	精神機能作業療法学実習	
	運動器作業療法学	
	高齢期作業療法学	
	発達過程作業療法学	
	発達過程作業療法学実習	
	内部機能作業療法学	
	日常生活活動学	
	日常生活活動学実習	
	義肢装具学	
	生活行為向上マネジメント演習	
	職業関連活動学	
地域 作業療法	地域リハビリテーション学	
	地域作業療法学	
	多職種連携教育	

専門分野 (両専攻)		頁
発展科目A	筋骨格系リハビリテーション	
	認知のリハビリテーション	
	痛みのサイエンス	
	予防リハビリテーション	
	ニューロサイエンス	
	スポーツサイエンス	
	ヘルスプロモーション	
	がんリハビリテーション	
発展科目B	社会自立支援技法	
	児童発達支援技法	
	地域社会支援技法	

総合科目 (理学療法学専攻)		頁
臨床実習	臨床技能演習Ⅰ	
	臨床技能演習Ⅱ	
	早期臨床体験実習	
	理学療法臨床評価実習	
	理学療法臨床総合実習Ⅰ	
	理学療法臨床総合実習Ⅱ	
	理学療法地域実習	
統合科目	理学療法特論Ⅰ	
	理学療法特論Ⅱ	
	理学療法総合演習	
卒業研究	理学療法研究法	
	理学療法セミナー	
	卒業研究	

総合科目 (作業療法学専攻)		頁
臨床実習	臨床技能演習Ⅰ	
	臨床技能演習Ⅱ	
	早期臨床体験実習	96
	作業療法臨床評価実習	
	作業療法臨床総合実習Ⅰ	
	作業療法臨床総合実習Ⅱ	
	作業療法地域実習	
統合科目	作業療法特論Ⅰ	
	作業療法特論Ⅱ	
	作業療法総合演習	
卒業研究	作業療法研究法	
	作業療法セミナー	
	卒業研究	

理学療法学専攻/作業療法学専攻
1年次生 時間割

前 期

	専攻	月	火	水	木	金
1 時限目 9:00 ～ 10:30	PT	解剖学Ⅰ 大迫 305中講義室	スポーツ実践 神家 体育館	人間発達学 宮本 305中講義室	生理学Ⅰ 梶 305中講義室	理学療法学概論 竹林 101・104機能訓練室
	OT		基礎英語 宮本（祥） 201講義室			身体運動学Ⅰ 箭野 201講義室
2 時限目 10:40 ～ 12:10	PT	（選）ライフサイエンス生物学 大迫 305中講義室	基礎英語 宮本（祥） 101講義室	社会学概論 秋谷 305中講義室	生理学演習Ⅰ 近藤・渡邊 101講義室	（選）生命倫理学 岩佐 305中講義室
	OT		スポーツ実践 神家 体育館		生理学演習Ⅰ 箭野・萩原 201講義室	
3 時限目 13:20 ～ 14:50	PT	災害と共に生きる 原 305中講義室	人間科学概論 李 305中講義室	情報リテラシー 竹林 近藤・渡邊 稲富・桂 大講義室・情報演習室	骨学筋学Ⅰ 岡部 101講義室	コミュニケーション論 筒井 101講義室
	OT				作業療法概論 宮口 201講義室	コミュニケーション論 筒井 201講義室
4 時限目 15:00 ～ 16:30	PT	ラーニングリテラシー /初年次IPE 専任教員 305中講義室	身体運動学Ⅰ 宮本・井上 101講義室	リハビリテーション概論 宮本・宅間 305中講義室		コミュニケーション論 筒井 101講義室
	OT		骨学筋学Ⅰ 稲富 201講義室			コミュニケーション論 筒井 201講義室
5 時限目 16:40 ～ 18:10	PT					
	OT					

後 期

	専攻	月	火	水	木	金
1 時限目 9:00 ～ 10:30	PT	解剖学Ⅱ 大迫 305中講義室		形態評価学実習 宮本（祥）・近藤 101・204評価治療室	生理学Ⅱ 梶 305中講義室	生理学演習Ⅱ 近藤・渡邊 101講義室
	OT		作業療法評価学 箭野 201・204評価治療室	身体運動学Ⅱ 箭野 201講義室		生理学演習Ⅱ 箭野・萩原 201講義室
2 時限目 10:40 ～ 12:10	PT	情報と社会 兵頭 305中講義室	理学療法評価学 岡部 101・204評価治療室	身体運動学Ⅱ 宮本・井上 101講義室	リハビリテーション医学 井上 305中講義室	（選）教育と社会 石山 305中講義室
	OT		基礎作業学 稲富 201講義室	身体機能評価学実習 桂・稲富 201・205レク室		
3 時限目 13:20 ～ 14:50	PT	病理学 椋 305中講義室	（選）医療人類学 李 305中講義室	（選）法律と社会 305中講義室	心理学 繁樹 305中講義室	異文化コミュニケーション （選）（中国語）岡崎 101講義室
	OT					骨学筋学Ⅱ 稲富 201講義室
4 時限目 15:00 ～ 16:30	PT	（選）バイオメカニクス 榎 305中講義室	（選）コミュニケーション英語 李・福江 101・201講義室			骨学筋学Ⅱ 岡部 101講義室
	OT					異文化コミュニケーション （選）（中国語）岡崎 201講義室
5 時限目 16:40 ～ 18:10	PT					
	OT					

教 養 基 礎 科 目

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	ラーニングリテラシー	演習	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、畑田 早苗、石附 智奈美、 宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、近藤 寛、 渡邊 家泰、桂 雅俊					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
本科目の目的は、大学で学ぶために必要な姿勢と技術を身に付けることである。具体的には図書館の利用方法、グループワークの基本、社会人としての自立した生活・学習方法に役立つ知識を学ぶ。また、書籍や文献の検索方法、レポートの書き方、プレゼンテーションの作成を通して学習技法の習得を目指す。専攻を横断したグループに分かれ、各担当教員の指導のもと学習を進める。							
学 習 目 標							
1. 大学での学びを理解する。 2. 学習に必要なスキルを理解し、実践できる。 3. グループワークを通して協調性のある行動をする。 4. プレゼンテーション技術や資料作成、検索技術などを習得する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☒ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☒ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	オリエンテーション 大学での生活・学習方法を知る。 事前学習（2時間）：大学生活での目標について考えておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、大学生活の目標を整理すること。						全員
2	課題解決のための検索方法 図書館の利用方法、資料の検索、レポートの書き方について理解する。 事前学習（2時間）：自分のパソコンで学内Wifi接続が可能なことを確認し、各種 の設定をしておくこと。 事後学習（2時間）：実際に図書館で資料検索、書籍を借りるなどを行うこと。						全員
3	グループワークについて グループワークの方法や留意点について理解する。 事前学習（2時間）：配布したグループを確認し、各自課題の準備をすること。 事後学習（2時間）：グループで打ち合わせをし、各自課題の準備をすること。						全員
4	グループワークの実践1 グループでレポートプレゼンテーション資料の作成をする。 事前学習（2時間）：プレゼンテーションに必要な資料を準備を進めておくこと。 事後学習（2時間）：グループ内で進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。						全員
5	グループワークの実践2 グループでレポートプレゼンテーション資料の作成をする。 事前学習（2時間）：プレゼンテーションに必要な資料を準備を進めておくこと。 事後学習（2時間）：グループ内で進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。						全員

6	グループワークの実践3 グループでレポートプレゼンテーション資料の作成をする。 事前学習（2時間）：プレゼンテーションに必要な資料を準備を進めておくこと。 事後学習（2時間）：グループ内で進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。	全員
7	グループワークの実践4 グループでレポートプレゼンテーション資料の作成をする。 事前学習（2時間）：プレゼンテーションに必要な資料を準備を進めておくこと。 事後学習（2時間）：グループ内で進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。	全員
8	課題発表・提出 各グループのプレゼンテーションの聴講・発表する。 事前学習（2時間）：プレゼンテーションに必要な資料を準備を進めておくこと。 事後学習（2時間）：各グループのプレゼンテーション評価、グループメンバーの相互評価をGoogleフォームにて回答すること。 自身の活動内容をまとめる。	全員
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	参考書については、適宜紹介する。	
成績評価	課題レポート（30%）、報告会（50%）、学生相互評価（20%）	
オフィスアワー	宮口・竹林・宮本：水曜日 5限、榎・岡部・畑田：火曜日 5限、川村・宮本（祥）・奥田・片岡・箭野：月曜日 5限、近藤・渡邊・萩原・桂：金曜日 5限。 なお、講義後も質問を受けつけます。 また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	ノートパソコンを所有している者は、持参すること。 所有しているノートパソコンのセキュリティ環境を確認しておくこと。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	情報リテラシー	演習	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	竹林 秀晃：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
	理学療法学専攻 近藤 寛：修士（医科学）理学療法士 渡邊 家泰：修士（心身健康科学）理学療法士 作業療法学専攻 稲富 惇一：博士（医学）作業療法士						
授 業 概 要							
情報化が世界的規模で爆発的な広がりを見せ、情報化による多面的な価値が次々と創造されている。膨大にある情報の中から必要な情報を的確にかつ効率良く得ることが必要である。本講義では、基本的なパーソナルコンピュータ（PC）の操作を習得するだけでなく、学習に必要な校内システムの設定や各種アプリケーションの使用などを通して情報リテラシーやPCを活用した学習方法を身につける。							
学 習 目 標							
1．基本的なPCの操作を習得する。 2．PCを使用した学習活動を理解する。 3．PCのセキュリティや情報モラルについて理解する。 4．プレゼンテーション技術や資料作成、検索技術などを習得する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☒ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	講義のオリエンテーション 情報リテラシーの意義と必要性 校内システムの各種設定 事前学習（2時間）：配布されたID・パスワードにを確認し、自身のPCの準備をしておくこと。 事後学習（2時間）：自宅で校内システムにログインできることを確認し、自身のPCの状況を確認しておくこと。					全員	
2	インターネット・PCのセキュリティについて 学内のネット環境・E-mailの利用・PCのセキュリティについて解説する。 事前学習（2時間）：自身のPCのセキュリティについて確認しておくこと。 事後学習（2時間）：自身のPCのセキュリティについて再確認し、各種の設定をしておくこと。					全員	
3	情報リテラシーについて 情報モラル（著作権、剽窃）、SNSの利用について 事前学習（2時間）：事前配布資料を読み、用語の意味などを理解しておくこと。 事後学習（2時間）：SNSのチェックシートで使用方法を再確認すること。					全員	
4	レポートの作成について1 Wordの使用方法・活用法についての解説 事前学習（2時間）：Wordがインストールされていることを確認し、ソフトの使用 方法の確認、タイピングの練習をすること。 事後学習（2時間）：レポート課題についてWordで作成し、提出すること。					全員	

5	レポートの作成について2 Wordを使用したレポート作成の実践、学内ルールを説明 事前学習（2時間）：タイピング練習をしておくこと。 事後学習（2時間）：レポート課題についてWordで作成し、提出すること。	全員
6	プレゼンテーションの方法1 PowerPointの使用方法・活用法について解説します。 事前学習（2時間）：PowerPointがインストールされていることを確認し、ソフトの使用方法を確認すること。 事後学習（2時間）：課題についてPowerPointで作成し、提出すること。	全員
7	プレゼンテーションの方法2 PowerPointを使用したプレゼンテーションの実践説明をします。 事前学習（2時間）：PowerPointの使用方法、プレゼンテーションについて学習しておくこと。 事後学習（2時間）：課題についてPowerPointで作成し、提出すること。	全員
8	データベース・表計算そふとについて Excelの使用方法・活用法について解説します。 事前学習（2時間）：Excelがインストールされていることを確認すること。 事後学習（2時間）：課題についてExcelで作成し、提出すること。	全員
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	参考書については、適宜紹介する。	
成績評価	課題提出70%、小テスト30%の結果を総合して評価する。	
オフィスアワー	竹林：水曜日 5限、近藤・渡邊：金曜日 5限。 なお、講義後も質問を受けつけます。 また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	ノートパソコンを所有している者は、持参すること。 所有しているノートパソコンのセキュリティ環境を確認しておくこと。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	初年次IPE演習	演習	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、畑田 早苗、石附 智奈美、 宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、近藤 寛、 渡邊 家泰、桂 雅俊				実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
理学療法・作業療法を実施していくにあたり、他職種との積極的な連携は必須である。そのため、初年次よりIPE（Interprofessional Education: 専門職連携教育）を意識した教育を実施するため、アクティブラーニングの1つである課題解決型学習（Problem/ Project-Based Learning：PBL）とポスターツアー（ジグソー法）を組み合わせ教合う学習に取り組むことを目的とする。ラーニングリテラシー・情報リテラシーの演習の応用として理学療法学専攻・作業療法学専攻の学生の合同グループをつくり、ディスカッションや課題解決に向けグループ学修を行う。最後は、ポスターで互いのグループのプレゼンテーションを行う。							
学 習 目 標							
1．IPE（Interprofessional Education: 専門職連携教育）基本を理解する。 2．グループ学習を通じて互いに協力し合う必要性を理解する。 3．グループ内での個々の特性を理解し、寛容性を身に付ける。 4．学生同士の相互評価を通じて連携する必要性を理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☒ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☒ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	IPE（Interprofessional Education: 専門職連携教育）とは 専門職連携教育の重要性について解説する。 事前学習（2時間）：配布したグループを確認しておくこと。多職種連携について 予習をしておくこと。 事後学習（2時間）：グループで活動について話す。配布資料の復習をすること。						全員
2	グループ学習1 各担当教員のもとグループに分かれて活動内容について確認する。 事前学習（2時間）：学習に必要な資料を準備し、予習しておくこと。 事後学習（2時間）：グループで進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。						全員
3	グループ学習2 テーマに応じてグループ内での役割分担や情報収集方法などを確認する。 事前学習（2時間）：学習に必要な資料を準備し、予習しておくこと。 事後学習（2時間）：グループで進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。						全員
4	グループ学習3 プレゼンテーションに向けて進捗状況を確認し、必要に応じて指導教員に相談する。 事前学習（2時間）：学習に必要な資料を準備し、予習しておくこと。 事後学習（2時間）：グループで進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。						全員

5	プレゼンテーション準備：資料の準備や発表練習 プレゼンテーションの役割・資料内容確認、時間配分などを確認する。 事前学習（2時間）：学習に必要な資料を準備し、予習しておくこと。 事後学習（2時間）：グループで進捗状況を確認し合い、各自課題の準備をすること。	全員
6	プレゼンテーション グループ発表の実践・聴講を通じて多職種連携教育の理解を深める。 事前学習（2時間）：グループ・各自でプレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学習（2時間）：各グループのプレゼンテーション評価まとめてをGoogleフォームにて回答すること。	全員
7	プレゼンテーション グループ発表の実践・聴講を通じて多職種連携教育の理解を深める。 事前学習（2時間）：グループ・各自でプレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学習（2時間）：各グループのプレゼンテーション評価をまとめて、Googleフォームにて回答すること。自身の活動内容をまとめる。	全員
8	まとめ・総括 グループ学習の相互評価を通じて多職種連携教育の理解を深める。 事前学習（2時間）：プレゼンテーションの準備・練習をしておくこと。 事後学習（2時間）：各グループの内容をまとめる。グループメンバーの相互評価をGoogleフォームにて回答すること。	全員
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	参考書については、適宜紹介する。	
成績評価	学生相互評価（70%）、教員によるグループ活動評価、ポスター・プレゼンテーションの結果（30%）を総合して評価する。	
オフィスアワー	宮口・竹林・宮本：水曜日 5限、榎・岡部・畑田：火曜日 5限、川村・宮本（祥）・奥田・片岡・箭野：月曜日 5限、近藤・渡邊・萩原・桂：金曜日 5限。 なお、講義後も質問を受けつけます。 また、電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	ノートパソコンを所有している者は、持参すること。 所有しているノートパソコンのセキュリティ環境を確認しておくこと。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	人間科学概論	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	李 賢珠：博士(文化人類学)＜非常勤講師＞					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
人間科学の基礎である「人間とはどのような存在か？」という問いに対し、文化人類学及び医療人類学の視点から、世界中の人間の身体への捉え方を事例に考えていきます。人類は進化の過程で様々な身体的特徴を獲得し、独特の文化を持つようになりました。同時に、人類の身体は個別の物質的存在にとどまらず、社会性を持ち、つながりのなかで共感能力を高めていきました。文化や社会との関連から身体について考えることを通じて、将来リハビリテーションのなかで人間の身体を扱う職業人としての知識・教養を養っていきます。							
学 習 目 標							
1. 進化の過程からみた人類の身体と文化の特徴を理解する。 2. 人間の身体を文化や社会との関連から理解する。 3. 人間のしぐさや行動の起源を知る。 4. 変化していく社会や世界の中で人間の身体はどう変わって行くのかを知る。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	授業の趣旨・概要の説明 人間科学概論授業への説明。人間科学とはどのような学問であるのかを説明する。その後シラバスを一緒に読みながら各回の題を説明する。最後に採点の基準と授業中覚えてルールを説明する。 事前学習（2時間）：シラバスで学習内容しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						李 賢珠
2	進化の過程からみた人類の身体と文化（1） ホモサピエンスを含む'ヒト'系の種類の進化の中でどのようにヒトの身体が変化してきたのかを学習する。その初めに進化の過程を説明し、人類と遺伝子的に近い類人猿の行動や体の使い方を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						李 賢珠
3	進化の過程からみた人類の身体と文化（2） 進化の過程の学習第2回。類人猿の行動や体の使い方への学習の続き。進化して来た身体部分を紹介し、その進化の分けを学ぶ。直立二足歩行という進化の結果変化してきな身体部分と能力を説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						李 賢珠
4	進化の過程からみた人類の身体と文化（3） 人間の身体の使い方その一つとなる声帯の発達による言語の使用。人間固有のコミュニケーション方法としての言語が進化の過程からの変化の一つであることを理解する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：'進化の過程から見た人類の身体と文化'の授業の内容をまとめ感想文を書く。						李 賢珠

5	進化の過程からみた人類の身体と文化（4） 人間文化の特徴は最も高いコミュニケーション能力における。他のヒト系の動物の中で見られるコミュニケーションはどうかを学習。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
6	身体の社会性と共感能力の発達（1） 未熟の状態で生まれる人間の体は依存性が高い。それはヒトの体の進化と関係がある事を理解し、人間の共感能力はどの様に発達して来たのかを説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
7	身体の社会性と共感能力の発達（2） 類人猿の中でも遺伝的にホモサピエンスに最も近いチンパンジーの行動の中で見られる共感能力やコミュニケーション方法を説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
8	身体の社会性と共感能力の発達（3） 人間の高い共感能力が見られる体の使い方を説明する。周辺の人の行動をまねをしたり、まわりの人のあくびが移ったりする現象は共感能力から発生する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
9	人間の身ぶりとしぐさ（1） 人類の身体の使い方を説明する。人間の体の使い方、特に身体技法（techniques to corps）は文化と地域によって差を持つ。例えば、走り方や子育てのすがた、農作の姿等、日常的な行動をする時文化によって姿勢や使う身体部分が違うことを説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
10	人間の身ぶりとしぐさ（2） 日本文化の中で見られる身体技法を説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
11	人間の身ぶりとしぐさ（3） 世界中様々な文化の中で見られる人間の身ぶりやしぐさを学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：人間の身振りとしぐさに関する感想文を書く。	李 賢珠
12	社会的な体（1） 人間の体は社会的な存在である。社会の中で見られる人間の体に関する概念を説明する。特に女性の身体にかんする美観を事例として説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：次回の講義で今回の内容の確認テストを行うので準備をしておくこと。	李 賢珠
13	社会的な体（2） オリンピックや軍隊そして、学校団体体操等、人間社会の中で見られる“訓練”を通した体の使い方を説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：次回の講義の冒頭に今回の学習内容の確認テストを行うので、準備をしておくこと。	李 賢珠
14	社会的な体（3） 人間の体は社会の変化と共に変わって行くことを説明する。現代企業かそして機械化の中で人間の体の使い方はどのように変わってきたのかを説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠

15	まとめ 今までの授業の内容を確認し、試験の範囲や内容を確認する。 事前学習（2時間）：今までの講義資料を読み、内容を確認し、講師への質問や説明してもらう部分をチェックしておく。 事後学習（2時間）：今までの資料を復習する。	李 賢珠
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	明和政子『ヒトの発達の謎を解く』（筑摩書房、2019年）	
成績評価	期末試験40%、グループワーク活動・課題50%、ミニテスト10%	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	心理学	講義	2	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	繁樹 博昭：博士(心理学)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 情報学群 教授					実務経験のある 教員による科目	
	島根 大輔：博士(心理学)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 総合研究所 脳コミュニケーション研究センター 助教 伊崎 翼：博士(学術)＜非常勤講師＞ 高知工科大学 経済・マネジメント学群 助教						
授 業 概 要							
心理学は、科学的な手法を用いて人間の「心」を理解しようとする研究分野の総称であり、その領域は多岐にわたる。本授業では、認知心理学領域の内容を中心に取り上げる。認知心理学は、人間の心的活動のうち、知覚・言語・記憶・学習・思考・問題解決などの比較的高度な知的活動を主な対象とした学問分野である。後半は社会心理学と臨床心理学の分野の基礎的内容についても取り上げる。社会心理学は社会の中での人の心の働きを解明しようとする研究分野であり、人が他者と関わるときどのような心を働かせ、行動するのかについての学問である。臨床心理学は心の不調やストレスを持つ人々がより良い生活を送れるよう支援するための理論や技法についての実践的な学問である。こうした人間の心理機能についての基礎的知見および主要な研究法を学ぶことを目的とする。							
学 習 目 標							
1. 心理学の歴史や背景やを理解し、説明することができる。 2. 心理学の主要なトピックについて基本的な知識を習得し、説明することができる。 3. 心理学の知見の応用について考えることができる。 4. 心理学の方法論を理解し、身近な心理学的問題について考えることができる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	心理学とは 心の科学としての心理学の定義と基本的な概念を解説する。 事前学習（2時間）：シラバスで学習内容を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					繁樹 博昭	
2	心理学の歴史 心理学という学問分野がどのようにして生まれどのように発展してきたかを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					繁樹 博昭	
3	知覚と感性 私たちが外界の情報をどのように知覚，認識するかを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					繁樹 博昭	
4	カテゴリーと表象 私たちが事物をどのように分類し，心のなかに表現しているかを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					繁樹 博昭	

5	言語 私たちの言語の特性やしぐみ、及びそのモデルを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	繁樹 博昭
6	記憶 私たちの記憶の特性やしぐみ、及びそのモデルを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	島根 大輔
7	学習と発達 私たちが物事を学習する特性や、私たちの心の成長の特性を解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	繁樹 博昭
8	思考と問題解決 私たちが目の前の問題に対していかに思考し、問題解決に至るかを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	繁樹 博昭
9	判断と意思決定 私たちの判断や意思決定の特性やどのようなバイアスがあるかを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	繁樹 博昭
10	感情と認知 感情が私たちの認知処理に対してどのように影響するかを解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	繁樹 博昭
11	注意とヒューマンエラー 注意の特性とそのしぐみ、ヒューマンエラーの分類と特性について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	繁樹 博昭
12	自己と他者、集団の中の個人 他者との関係における心理、集団における心理について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	伊崎 翼
13	心理研究法 実験、観察、調査などの心理学の研究法について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	伊崎 翼
14	臨床心理学 1 臨床心理学においてキーとなる基礎的な概念について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	島根 大輔
15	臨床心理学 2 臨床心理学における実践的側面について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	島根 大輔
教科書		ハンドアウト資料

参考図書	適宜紹介します。
成績評価	定期試験成績（85％）、小テスト（15％）により評価する。
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。
留意事項	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	生命倫理学	講義	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	岩佐 光広：博士(学術)<非常勤講師> 高知大学教育研究部人文社会科学計人文社会科学部門 教授					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
この授業では、リハビリテーションの倫理を考えるための基礎として、村部義哉「リハビリテーションの臨床展開における倫理的特異性」（『生命倫理』33（1）：13-21、2023年）を読み解きます。この論文は、リハビリテーション医学の特異性を「リバタリアン・パターナリズムに準拠したセラピー」として位置づけ、そのもとでリハビリテーションの専門家に求められる態度と能力について論じています。この授業では、キーワードなどについて補足的な解説をしながら、この論文で主張されている内容の理解を試みます。それを踏まえ、現代社会においてリハビリテーションを実践していくうえでの倫理について考えていくための手がかりを提供したいと思います。							
学 習 目 標							
1．リハビリテーション医療における倫理の重要性が説明できる。 2．リハビリテーション医療の特異性について説明できる。 3．リバタリアン・パターナリズム的な態度を説明できる。 4．リハビリテーション専門家に求められる能力について説明できる							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	リハビリテーションの倫理 現代社会における医療およびリハビリテーションの倫理のあり方について説明します。 事前学習（2時間）：バイオエシックスについて調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						岩佐 光広
2	キュア、ケア、セラピー（1） 医療、看護との関係からリハビリテーション医学の特異性を説明します。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						岩佐 光広
3	キュア、ケア、セラピー（2） 医療、看護との関係からリハビリテーション医学の特異性を説明します。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						岩佐 光広
4	リバタリアン・パターナリズム（1） リバタリアン・パターナリズムという考え方について説明します。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						岩佐 光広
5	リバタリアン・パターナリズム（2） リバタリアン・パターナリズムに準拠したセラピーについて説明します。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						岩佐 光広

6	EBM、NBM、患者の能動性（1） 根拠に基づいた医療、物語に基づいた医療との関係から「患者の能動性」について考えます。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	岩佐 光広
7	EBM、NBM、患者の能動性（2） 根拠に基づいた医療、物語に基づいた医療との関係から「患者の能動性」について考えます。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	岩佐 光広
8	リハビリテーションの専門家の態度と能力 今後、作業療法士や理学療法士として働く上での倫理のあり方について考えます。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：レポート課題を仕上げ、提出すること。	岩佐 光広
教科書	村部義哉「リハビリテーションの臨床展開における倫理的特異性」（『生命倫理』33（1）：13-21、2023年）	
参考図書	那須耕介・橋本努（編）『ナッジ！？ 自由でおせっかいなリバタリアン・パターナリズム』（勁草書房、2020年）	
成績評価	レポートおよびアクションペーパーによる評価を行う。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	医療人類学	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	李 賢珠：博士(文化人類学)<非常勤講師>					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
1. 人間の社会や文化に存在する「病気・疾病」とは何かに関して学ぶ。 2. 様々な文化の病気・疾病および治療に関する概念や慣習を学ぶこと通して、医療人類学とは何かを理解する。 3. 異文化観点から見た現代医学の治療方法を理解する。 4. 疾病と文化はどのような関係性を持つのかを学ぶ。							
学 習 目 標							
1. 様々な文化の医療に関する概念や慣習を知る。 2. 事例を通して医療人類学的なものの見方を知る。 3. 疾病と癒しの概念を社会や文化の範囲で理解する。 4. 現代医療実行方法の背景を文化歴史的な脈絡で理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	授業の趣旨・概要の説明 医療人類学とは何かを説明する。一学期間学ぶ内容の概要を説明しながらシラバスの各項目を確認する。授業中の決まり、成績の基準を説明する。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、一学期間学ぶ内容を確認する。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					李 賢珠	
2	病気の生物文化的(biocultural)解析（1） 疾病と癒しの概念や慣習を文化的観点から理解する。正常と異常の定義を医療人類学に説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					李 賢珠	
3	病気の生物文化的(biocultural)解析（2） 現代医学を文化の観点から理解し、医療の対象をどの様に診断し決めているのかを説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					李 賢珠	
4	世界の疾病と治療方法（1）体液医学 ギリシャの医者であるヒポクラテス派中心の人間の体を構成する体液の混じり合いが健康を決まらと思った体液医学を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。					李 賢珠	

5	世界の疾病と治療方法（2）ラテンアメリカの医療 ギリシャの医者から始まった体液医学がラテンアメリカまで広がり土着医療に変換。ラテンアメリカの医療を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
6	日本の医療 1 漢方医学や近代日本の医療を学ぶ。日本の医療の多様性を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
7	日本の医療 2 医療人類学者の研究を紹介し、にほんの文化と医療システムの発達の関連性を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠
8	インドのアーユルヴェーダ医学 インドのアーユルヴェーダ医療は何かを学ぶ。 事前学習（2時間）：今までの講義をまとめて、質問できるようにしておくこと。 事後学習（2時間）：定期試験に向けて授業内容をまとめること	李 賢珠
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	Wiley, Andrea S. and Allen, John S. (2013). Medical Anthropology: A Biological Approach. New York: Oxford University.	
成績評価	期末試験50%、グループワーク活動25%、課題25%	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	社会学概論	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者		秋谷 公博：博士(国際地域学)＜非常勤講師＞ 高知県立大学 地域教育研究センター 准教授				実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
本科目は、社会の変化に柔軟かつ自律的に対応していくために必要な知識を身につけることを目的として、現代社会における私たちの日常生活の中の諸課題について学習をします。その為に、私たちの身近な社会である「地域社会」について様々な側面から見ていきます。それにより、地域社会が抱えている課題について把握するとともに、それを改善するための方策についてまちづくりの観点から皆さんと共に考えていきます。また、本講義では、ものの見方・考え方を広げるためにチーム基盤型学習（TBL）での討論等も行い、主体性やコミュニケーション能力等も身につけることを目指します。							
学 習 目 標							
1. 「地域社会とは何か」について、他者に説明することができる。 2. 「まちづくりとは何か」について他者に説明することができる。 3. 地域社会が抱えている課題について理解できるとともに、その改善策について各自の専門分野の知識をもとに考えることができる。 4. 他者の考え方の多様性に触れ、多面的に捉えられる視野や主体性、コミュニケーション能力を養うことができる。							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	オリエンテーション 授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明及びチーム発表 事前学習（2時間）：シラバスで学習内容しておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。						秋谷 公博
2	地域社会とは？ 地域社会についてコミュニティとアソシエーション等の観点から考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。						秋谷 公博
3	地域社会が抱える課題① 地域社会の課題について中山間地域等が抱えている課題から考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。						秋谷 公博
4	地域社会が抱える課題② 「地域社会の課題について都市部が抱えている課題から考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。						秋谷 公博
5	地域社会が抱える課題③ 地域社会の課題についてホームレスの事例から考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。						秋谷 公博

6	地域社会とまちづくり① 地域社会についてまちづくりの視点から考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
7	地域社会とまちづくり② ポップカルチャーからまちづくりについて考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
8	地域社会と多文化共生 異文化理解の視点から地域社会と多文化共生について考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
9	地域社会と地域資源① 地元学の視点から地域資源について考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
10	地域社会と地域資源② 生まれ育った地域での思い出を振り返りながら地域資源について考える 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
11	地域資源とその活用① 他地域ではあまり知られていない地域資源について調査を行う 事前学習（2時間）：各自で興味のある地域の他地域ではあまり知られていない特産品やイベントなどについて調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
12	地域資源とその活用② 他地域ではあまり知られていない地域資源の発掘とその活用方法について考える 事前学習（2時間）：前回の講義でチームメンバーと情報共有した情報を再度確認すること。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
13	地域資源とその活用③ 地域資源の活用やその発信方法などについての提案をPPTに取り纏める 事前学習（2時間）：前回の講義でチームメンバーと共有した情報を再度確認すること。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
14	課題発表① 他チームの発表をもとに、地域社会の課題についての知見を深める 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行う。	秋谷 公博
15	課題発表② 他チームの発表をもとに、地域社会の課題についての知見を深める 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：振り返りピア評価シートを作成し、振り返り学習を行うこと。	秋谷 公博
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介する。	
成績評価	①振り返り・ピア評価シート（30%）、②チームへの貢献度（20%）、③課題（10%）、④定期試験（40%）	

オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。
留意事項	本講義は、チーム基盤型学習（TBL）も取り入れて行います。その為、チームでの討論等も数多く行いますので、履修にはその点を留意すること。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	情報と社会	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者		兵頭 勇己：博士(医学)　＜非常勤講師＞ 高知大学医学部附属医学情報センター					実務経験のある 教員による科目
授 業 概 要							
高度に情報化された現代社会では、情報の価値とそのもたらす利益は広く認知されている。その一方で、プライバシーやセキュリティ、さらには情報格差による社会的不平等など、しばしば見過ごされる側面も存在する。加えて、情報を生成するためのインフラストラクチャなどの仕組みは、現代において表に出ることはあまりない。すなわち、今後の情報利活用においては、このような技術的な部分や社会との相互作用の側面など、多角的な視点が不可欠である。本講義では、情報と社会の関係に理解を深め、情報化が社会に及ぼす影響や課題について基礎的な理解を深める。特に、医療分野での情報活用についても話題提供し、今後さらに発展する情報社会でよりよく生きるために何が必要かを模索していく。							
学 習 目 標							
1. 情報化社会の基盤となる情報技術について、説明できる。 2. 現代の機械学習および人工知能の仕組みについて、概要を説明できる。 3. 情報化社会と医療や教育との関わりを理解する。 4. 情報技術に関連した法的制約および倫理的問題について理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	情報化社会について　Sciety5.0 Society 5.0が目指す社会および実現するための基盤技術と社会制度 事前学習（2時間）：内閣府のHPに掲載されている、Sciety5.0に関する内容を読むこと。 事後学習（2時間）：知識確認のための課題・小テストを実施すること。						兵頭 勇己
2	情報社会とセキュリティ技術 現代でよく利用される機械学習および人工知能と呼ばれるものの仕組み 事前学習（2時間）：講義資料を読み、不明な点は講義時に確認できるようにすること。 事後学習（2時間）：知識確認のための課題・小テストを実施すること。						兵頭 勇己
3	情報社会に関連する法規 生活を豊かにする正の側面、プライバシーの侵害や情報格差など負の側面 事前学習（2時間）：講義資料を読み、自分の身の回りの情報システムの例を挙げること。 事後学習（2時間）：知識確認のための課題・小テストを実施すること。						兵頭 勇己
4	情報社会と医療 情報システムが医療現場に与えた影響および健康社会の創成に向けた情報基盤 事前学習（2時間）：講義資料を読み、不明な点は講義時に確認できるようにすること。 事後学習（2時間）：知識確認のための課題・小テストを実施すること。						兵頭 勇己
5	情報学基礎・機械学習で扱うデータ形式 蓄積された各種医療データを用いた研究および臨床応用事例 事前学習（2時間）：講義資料を読み、不明な点は講義時に確認できるようにすること。 事後学習（2時間）：リハビリテーション分野に関する応用例を考えること。						兵頭 勇己

6	データリテラシー サイバーセキュリティ技術の概要や、一般社会および医療業界での動向 事前学習（2時間）：講義資料を読み、不明な点は講義時に確認できるようにすること。 事後学習（2時間）：知識確認のための課題・小テストを実施すること。	兵頭 勇己
7	機械学習・人工知能概論 個人情報保護法、著作権法、不正アクセス禁止法など情報に関連する法規 事前学習（2時間）：講義資料を読み、不明な点は講義時に確認できるようにすること。 事後学習（2時間）：知識確認のための課題・小テストを実施すること。	兵頭 勇己
8	医療分野におけるデータサイエンス データの種類、データの分布・代表値や可視化について説明および演習 事前学習（2時間）：自身のPCのアップデートやExcelが利用できることを確認すること 事後学習（2時間）：データの可視化に関する課題を自身のPCで実施し、提出すること。	兵頭 勇己
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	参考書については、適宜紹介する。	
成績評価	各回の課題（50%）、定期試験（50%）、合計100%で評価する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後に質問を受けつけます。	
留意事項	ノートパソコンを持参すること。 所有しているノートパソコンのセキュリティ環境を確認しておくこと。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	法律と社会	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	村岡 晃：＜非常勤講師＞ 高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 企業長					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
わたしたちは、常に法とかかわりをもって生活しており、「法的社会」に生きているといえる。 本講義では、労働及び社会保障等について法とのかかわりを考えることとする。法とはなにか、日常生活の中での法と社会との関係を踏まえながら、医療、高齢者、介護、子ども・育児、障害者、労働、雇用、ワーク・ライフ・バランス等について、法的な視点から捉えていく。日常生活の中での法と社会のあり方について、皆さんと考えていきたい。							
学 習 目 標							
1. 法をとおして社会を理解する。 2. さまざまな問題に法はいかに対処しているのか理解することができるようになる。 3. 事例の検討をとおして、法的な観点から社会を理解する。 4. 仕事や日々の暮らしを送る上で必要な医療、労働法及び社会保障法の知識を得ることができるようになる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	総論 法とはなにか、法や社会規範の意義や役割等について学ぶ。 事前学習（2時間）：シラバスを読んでおくこと。 事後学習（2時間）：配布資料、ノートなどを参考に復習すること。					村岡 晃	
2	職業と法制度 医療関係の法律、公務員法など職業と法について学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料、ノートなどを参考に復習すること。					村岡 晃	
3	労働基準法などの法制度 働く者が知っておくべき法制度を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：参考図書、配布資料、ノートなどを参考に復習すること。					村岡 晃	
4	社会保障制度に関わる法制度 医療保険、生活保護など、生活に関係する法制度を学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：参考図書、配布資料、ノートなどを参考に復習すること。					村岡 晃	
5	高齢者・介護・障害者等をめぐる法制度 高齢者福祉、障害者福祉、介護保険などについて学ぶ 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：参考図書、配布資料、ノートなどを参考に復習すること。					村岡 晃	

6	子ども・子育てをめぐる法制度 子ども・子育てなど、児童福祉について学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：参考図書、配布資料、ノートなどを参考に復習すること。	村岡 晃
7	雇用・ワーク・ライフ・バランス等をめぐる法制度 ジェンダー平等、育児・介護休業、働き方改革等について学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：参考図書、配布資料、ノートなどを参考に復習すること。	村岡 晃
8	まとめ これまでの学びを総括し、あらためて法と社会の関わりについて学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：参考図書、配布資料、ノートなどを参考に復習すること。	村岡 晃
教科書	各講義ごとにハンドアウト資料を配布する。	
参考図書	増田幸弘ほか編著「変わる福祉社会の論点 第3版」（信山社、令和3年）	
成績評価	定期試験（70%）、講義中の課題（30%）など計100%で評価する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しない。講義後質問を受けつけることとする。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	教育と社会	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者		石山 貴章：博士(社会福祉学)＜非常勤講師＞ 高知県立大学 地域教育研究センター 教授				実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
教育と社会のつながりや様々な課題に関する理論、そして、これまでに蓄積されてきた教育・社会的な知見、実証的なデータなどを活用しながら、教育の様々な側面をを社会的な視点と融合させながら授業を展開していく。特に、ノーマライゼーションの理念やユニバーサル教育を実現化させていくために重要視されている各障害の理解、具体的な教育支援方法、他職種連携（医療-教育-福祉-行政）、卒業後の就労支援に焦点を当てながら、教育と社会の課題と解決に向けたサポートとは何かについて議論を行っていく。							
学 習 目 標							
1．現代の教育や医療、福祉、行政現場の実情や課題を教育・社会的な視点から検討できるようになる。 2．特別な支援を必要としている様々な子どもたちや人々に対する効果的な援助・支援アプローチについて、具体的な課題を社会的文脈に位置づけながら理解できるようになる。 3．現代社会における医療、学校、福祉、行政の取り組みや社会的な役割を多角的・多面的に理解し、支援者が学校や社会で生じている諸問題を理解できるようになる。 4．上記のことを理解し、適切にサポートしていくことができるような力を養っていくことを目標とする。							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	教育と社会 ノーマライゼーションの理念と実際 事前学習（2時間）：シラバスを確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。						石山 貴章
2	特別支援教育の基本 教育システム・教育課程・教育内容・教育方法 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。						石山 貴章
3	障害の理解と支援① 知的障害・視覚障害・聴覚障害 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。						石山 貴章
4	障害の理解と支援② 肢体不自由・病弱・虚弱 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。						石山 貴章

5	障害の理解と支援③ 発達障害・発達性協調運動障害 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	石山 貴章
6	他職種連携支援 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士との連携 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。	石山 貴章
7	障害者就労支援 キャリア教育・障害者職業リハビリテーション 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布した資料を事前に読んでおくこと。	石山 貴章
8	まとめ 教育の未来について 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：今までの講義内容を総復習しレポートを仕上げること。	石山 貴章
教科書	教科書は使用しない。各講義ごとにハンドアウト資料を配布する。	
参考図書	是永かな子ら(2021)：『特別支援教育(やさしく学ぶ教職課程)』,学文社.	
成績評価	毎回の授業の最後に提出する小レポート(40%) 授業で扱った知識の習得・定着の度合いを確認する。 最終レポート試験(60%)	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	災害と共に生きる	講義	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者		原 忠：博士(工学)<非常勤講師> 高知大学 教育研究部自然科学系 教授				実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
日本は世界有数の自然災害の多発国である。近年では気象災害の発生頻度が増し、激甚化している。加えて、今後30年以内に高確率で南海トラフ地震が発生すると予測され、防災・減災に関するさらなる取り組みが求められている。特に、高知県は自然豊かな地域である反面、山間地の地質は脆弱で土砂災害等が頻発し、中～南部の平野部に堆積する地盤は極めて脆弱で、大きな揺れや液状化の発生が懸念されている。さらに、海岸平野部では津波による長期間の浸水被害も想定されている。本講義では、国内外の自然災害の現状や災害種、高知県の災害リスクを知り、災害に備え、持続可能で安心・安全な社会基盤づくりに貢献できるための基礎を学修する。							
学 習 目 標							
1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解する。 2. 日本・高知でみられる自然災害の現状を理解する。 3. 南海トラフ地震やそれにより生じる災害について理解する。 4. 災害に強く、持続可能な社会に貢献するために必要な知識を身に着ける。							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	オリエンテーション・概説 本講義の進め方と自然災害の全容を解説する。 事前学習（2時間）：シラバスを確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						原 忠
2	気象災害と風水害 発生頻度の高い気象災害と風水害を解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						原 忠
3	地盤災害 風水害や地震で生じる地盤災害について、斜面災害、液状化を解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						原 忠
4	巨大地震と津波の災害 大地震とそれによる津波の発生について、東日本大震災を例に解説する 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						原 忠
5	地盤災害に備える 斜面災害や液状化に対する防災・減災をハード対策、ソフト対策について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						原 忠

6	巨大津波に備える 巨大津波に対する防災・減災をハード対策，ソフト対策について解説する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。	原 忠
7	災害図上訓練① 避難施設の運営をグループワークにより検討する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。	原 忠
8	災害図上訓練② 図上訓練で得られた結論をプレゼンテーションし、災害への備えを理解する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。	原 忠
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介する。	
成績評価	最終レポート課題70%、授業の課題30%、合計100%	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項	講義形式が中心、口頭での質疑・ディスカッションを含む、グループワークを含む。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	ライフサイエンス生物学	講義	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者		大迫 洋治：博士(獣医学)<非常勤講師> 高知大学 医学部解剖学講座 准教授					実務経験のある 教員による科目
授 業 概 要							
ヒトは、受精卵という1つの細胞が分裂を繰り返した結果、約40兆個もの細胞で構成される。これら細胞ひとつひとつは生きており、お互いに協調して秩序を保ちながら機能を発揮することで、1人のヒトが健やかに生きている。また、地球上にはヒト以外にも多くの種の生物が存在し共存しているが、地球上のすべての生物はたった1種の生物から進化したと考えられている。本科目では、生物の定義から、遺伝、発生、行動、生態系、がん、再生医療までライフサイエンスの理解に必要な生物学の基本知識を学習する。また、高校で生物学を履修していない学生が、大学での生理学・生化学をスムーズに理解できるように解説していく。受講を通して、教養として生物学の知識を深めると同時に、生命の素晴らしさを実感して欲しい。							
学 習 目 標							
1. 生物とはなにかについて説明できる 2. 細胞の基本的な構造と機能について説明できる 3. 個体の発生・性分化について説明できる 4. 動物の行動の発現・発達メカニズムについて説明できる 5. 生物の進化と多様性の意義について説明できる 6. 老化現象、がんの発症、再生医療について説明できる							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	学習の進め方：オリエンテーション、生物とはなにか？：生物の定義 すべての生物に共通する特徴（共通性）について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。						大迫 洋治
2	細胞の基本的な構造と機能 真核細胞の主な細胞小器官、細胞膜の構造と機能について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。						大迫 洋治
3	細胞の形と機能を定めるもの：遺伝のしくみ DNAの構造、遺伝子の発現、細胞周期、体細胞分裂と減数分裂の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。						大迫 洋治
4	細胞の代謝とエネルギー 細胞の代謝を同化と異化に分けて理解する。ATPの構造・生物の代謝と生命活動におけるATPの合成と分解を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。						大迫 洋治

5	個体の発生・性分化 受精卵から各器官が形成されて行く過程について理解する。生殖器と脳の性差が発達する過程について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。	大迫 洋治
6	動物の行動（個体間のコミュニケーション） 生得的行動と習得的行動の違いについて理解する。社会行動の発現メカニズムについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。	大迫 洋治
7	生物の進化と多様性 生物の系統分類と進化によりどのようにして多様性が生じたかについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。	大迫 洋治
8	細胞の死と個体の死：老化、がん、再生 老化と死を細胞レベルと個体レベルで理解する。腫瘍の定義と分類を理解する。再生医療と生体内の幹細胞を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、キーワードを調べておくこと。 事後学習（2時間）：講義の振り返りシートを提出すること。	大迫 洋治
教科書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第4版 和田勝 羊土社	
参考図書	1. エッセンシャル・キャンベル生物学 原書6版 池内昌彦他 丸善出版 その他、適宜紹介します。	
成績評価	最終レポート課題76%、事後学習課題24%、合計100%で評価します。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	バイオメカニクス	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	榎 勇人：博士(工学) 理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
身体運動には力学的法則が働いている。臨床場面では、対象者の動きを力学的に解釈することで、異常動作の原因や最良の介助方法を考える。本科目は、力学が生体にどのように影響しているのかなど、バイオメカニクスの基礎を学び、人の動作をバイオメカニクスの視点から理解することを目的とする。実際の動作（たちあがり、歩行、ジャンプ動作）のバイオメカニクスも取り上げ、実際の計測場面を確認しながらよりイメージができるように講義を展開する。							
学 習 目 標							
1. 知識：力学が生体にどのように影響をしているのかなど、バイオメカニクスの基礎を学び、基本動作を力学的に理解する。 2. 態度：本科目に興味をもち、積極的に勉学に取り組む。 3. 技術：バイオメカニクスの視点から動作分析が行えるように技術を習得する。 4. 思考：基本動作や異常動作を、バイオメカニクスの視点から解釈をして考察できるようになる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☒ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	バイオメカニクスの基礎：力学 基礎知識の整理、力の合成と分解について 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、高校までに習った必要な基礎知識（物理学、数学） 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いて提出すること。						榎 勇人
2	バイオメカニクスの基礎：テコ 生体におけるテコについて、てこの種類と人体での作用例、運動動作とてこ 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこ 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いて提出すること。						榎 勇人
3	重心の位置と重心の速度・加速度 重心の定義・重心速度・重心加速度・重心の運動方程式、動作の身体重心分析 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこ 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いて提出すること。						榎 勇人
4	床反力と重心の関係 床反力と重心の関係、床反力と関節モーメント、床反力と床反力作用点 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこ 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いて提出すること。						榎 勇人

5	関節モーメント 関節モーメントと筋活動・動作の関係について 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこと 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いて提出すること。	榎 勇人
6	動作のバイオメカニクス① 立ち上がり動作のバイオメカニクスと動作観察・測定を実践する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこと。 事後学習（2時間）：観察・計測した動作についてまとめて提出すること。	榎 勇人
7	動作のバイオメカニクス② 歩行動作のバイオメカニクスと動作観察・測定を実践する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこと。 事後学習（2時間）：観察・計測した動作についてまとめて提出すること。	榎 勇人
8	動作のバイオメカニクス② ジャンプ動作のバイオメカニクスと動作観察・測定を実践する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べて、まとめておくこと。 事後学習（2時間）：観察・計測した動作についてまとめて提出すること。	榎 勇人
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介する。	
成績評価	レポート課題・小テスト（20％）、定期試験（80％）を総合して評価する。	
オフィスアワー	火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	講義形式が中心、口頭での質疑・ディスカッションを含む、グループワークを含む。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	教養 基礎	基礎英語	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	宮本 祥子：修士(学術) 理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
院内のリハビリテーション関連場面で交わされる英会話表現に触れながら、医療分野の基本的な専門用語を学修する。用語の学習の際には、日本語訳に加え、その語に関する概念的な知識を整理する。また、会話で用いられる典型的なパターンについては応用表現にも取り組む。授業の後半には、医療に関する英語ニュースの記事の読解に取り組む。読解の際には、テキスト中に出現する語彙をJACET8000やAcademic Word List（Coxhead 2000）、理学療法ESP語彙表（宮本 2011）と照合して種類分けを行い提示する。「学術語彙」「専門語彙」に分類されるものについては、語彙の修得（日本語訳ができる）を目標として学修する。							
学 習 目 標							
1．基本的な英語の医療専門用語を覚える。 2．基本的な文法を復習し、リハビリテーション関連場面で用いられる短い会話文が作れるようになる。 3．英語ニュースの記事の内容がわかる。 4．ニュース中に出現する学術語彙、専門語彙がわかる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	自己紹介をする 患者の基礎情報（生年月日、身長など）を収集する、自分の情報を伝える練習をする。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、高校までの英語学習を振り返って自己紹介の内容を考えておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						宮本 祥子
2	医療職種の名称 医療職種の名称を学んだ後、医療者役となり、患者役に対して自己紹介を行う。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						宮本 祥子
3	検査に関する表現 院内で受ける各種検査の名称を学ぶ。その後、患者に検査予定を伝える練習をする。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						宮本 祥子
4	院内各科の名称の表現 診療科や各部門の名称を学ぶ。その後、院内の道案内をする、道案内を聞き取る練習を行う。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						宮本 祥子

5	不調・痛みを訴える 痛みの種類・痛む場所について、相手に訴える表現を学習する。また、訴えを聞き出す表現を学習する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	宮本 祥子
6	既往歴を尋ねる 既往歴を尋ねる表現・既往歴を伝える表現を学習する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	宮本 祥子
7	前半：まとめ 1～6限までの復習を行う。また、身体の不調を訴えるための身体各部位の名称について学習する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	宮本 祥子
8	中間試験 1～7限までの授業で学習した内容を出題範囲として、確認テストを行う。 事前学習（2時間）：中間試験のための準備をすること。 事後学習（2時間）：試験を通じ、苦手となった学習範囲を自己分析し、復習すること。	宮本 祥子
9	骨の英語名について学ぶ 骨の英語名について学ぶ。また、関節名の略語についても学習する。 事前学習（2時間）：日本語で構わないので、骨の名称を復習しておくこと。 事後学習（2時間）：次回の講義で単語の確認テストを行うので準備をしておくこと。	宮本 祥子
10	運動麻痺と歩行に関する語 運動麻痺と歩行に関する語を学ぶ。異常歩行は実際の異常歩行パターンの理解も目標とする。 事前学習（2時間）：歩行周期について復習しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	宮本 祥子
11	保健に関するニュースを読む（1） ニュースの紹介、語彙の確認、cloze test（WHO提供のニュースを取り上げる） 事前学習（2時間）：ニュースサイトを見て、どのようなサイトか確認すること。 事後学習（2時間）：次回、新出単語の確認テストを行うので準備をしておくこと。	宮本 祥子
12	保健に関するニュースを読む(2) 英語ニュースを講読する。トピックス1として疾病予防に関するニュースを取り上げる。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：次回の講義で今回の内容の確認テストを行うので準備をしておくこと。	宮本 祥子
13	保健に関するニュースを読む(3) 英語ニュースを講読する。トピックス2として疾病予防に関するニュースを取り上げる。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：次回の講義の冒頭に今回の学習内容の確認テストを行うので、準備をしておくこと。	宮本 祥子
14	保健に関するニュースを読む(4) 英語ニュースを講読する。トピックス3として疾患に関するニュースを取り上げる。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	宮本 祥子
15	まとめ 9～14限までの復習を行う。また、WHOの役割などについて確認する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	宮本 祥子

教科書	教員が独自に授業資料を作成し配布します。
参考図書	適宜紹介します。
成績評価	中間試験と定期試験80%、復習テスト、提出したノート（20%）、合計100%で評価する。
オフィスアワー	月曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	英語に触れる機会を自ら作るように心がけること。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必須	教養 基礎	コミュニケーション論	講義	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	筒井 典子：修士(学術)＜非常勤講師＞ 人・みらい研究所 代表					実務経験のある 教員による科目	
	中村 覚：＜非常勤講師＞ 人・みらい研究所						
授 業 概 要							
医療現場においては「疾病」「患者」を見るのではなく、その人全体を見ていくことが医療従事者の責務である。それには現場での良い人間関係を構築することが必須となる。そのためにコミュニケーションの基礎技術を身に付けプロとして人間関係を豊かに築いていけるよう、医療サービスマインド論をベースとした、傾聴・ストローク（人との関わり）・ビジネスマナーを身につける。また、コミュニケーションの心理学である交流分析の手法を用いて、自身のコミュニケーション特性を客観的に認識する。障害を持つ方々を理解し寄り添えるよう、ユニバーサル・マナーで様々な障害についての社会的知識を学び、体感することで医療ホスピタリティを向上させ、感性を豊かに磨いていく。							
学 習 目 標							
1. 医療人として必要な、現場での様々なコミュニケーションスキルを身につける。 2. 患者にも心を寄せられる、医療ホスピタリティを向上させる。 3. 自分で考え判断し責任を持てる、自律性を高める。 4. 自分のコミュニケーション特性を客観的に認識し、より良い人間関係を築く。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	医療サービスマインド論、マナー 医療サービスの特性を患者心理より理解し、対人援助職に必須の資質であるコミュニケーション力についての基本を学ぶ。 事前学習（2時間）：講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						筒井 典子 中村 覚
2	医療コミュニケーション 医療現場で求められるマナーや話し方、そのコツを実習現場でも使えるよう、コミュニケーション・トレーニングを含めて学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						筒井 典子 中村 覚
3	エゴグラム分析 コミュニケーションの心理学である交流分析の手法を用い、エゴグラムで自分の5つのコミュニケーション・バランスを分析してみる。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料やノートなどを参考に、復習をすること。						筒井 典子 中村 覚
4	セルフ・マネジメント エゴグラムからの自分のコミュニケーション特性を理解する。また医療人として長所を伸ばし短所を改善するため、生活シーンで具体的にどうすればいいのかを考察につなげる。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：エゴグラム分析の結果を、レポートにまとめること。						筒井 典子 中村 覚

5	ストローク 言葉や態度を通して、相手の存在を認める働きかけ。交流分析でその特性を学び、患者心理の一端を理解する。また、自分のコミュニケーション改善の演習も行う。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	筒井 典子 中村 覚
6	傾聴 言語・非言語メッセージに含まれる相手の気持ちに気づき、相手を尊重した効き方の基本姿勢を学ぶ。共感スキル向上の演習も行う。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：日常での「ストローク・傾聴」についてレポートにまとめること。	筒井 典子 中村 覚
7	ユニバーサル・マナー 様々な障害を持つ人のコミュニケーション特性を学び、生活シーンにおいて何に困難を感じるのかを知り、必要なサポート法を理解する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	筒井 典子 中村 覚
8	医療ホスピタリティ向上演習 医療ホスピタリティ向上のため、生活動作でのサポートを体験する。また障害の疑似体験をしてみることで、体感しないとわからない学びを得る。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	筒井 典子 中村 覚
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	2コマに1回のレポート（50%）、受講マナー（30%）、演習態度（20%）により、総合評価します。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	コミュニケーション英語	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者		李 賢珠：博士(文化人類学)＜非常勤講師＞				実務経験のある 教員による科目	
		福江 満子：修士（教育学）＜非常勤講師＞					
授 業 概 要							
英語を通してコミュニケーションとは何かを知り、英語での会話の仕方を学ぶ授業です。自己紹介の仕方や身近な人、物、場所等を紹介するためのより丁寧な英語表現を学んでいきます。また、他の受講生の話を聞いて質問をしながら、より高度な会話の仕方を身につけます。クラスメートの前に立ち自分自身や様々なことをプレゼンテーションする事により多数の前で話す姿勢や自信感を練習を通して身に着ける授業です。外国語である英語を使いながら、コミュニケーション方法を新たに身に着ける事が出来るとも期待される。							
学 習 目 標							
1. 英語で正しく他人に自己紹介をする。 2. 英語で質問し、答え、説明する。 3. 正しく発音するための口舌の使い方を学ぶ。 4. 英語でのプレゼンテーションの経験を通して、人に伝える技術を身につける。							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	授業の趣旨・概要の説明 英語をコミュニケーションツールとして使うために必要な表現や技術など概況を説明する。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、英語での自己紹介の内容を考えておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						李 賢珠 福江 満子
2	Greetings 挨拶の表現 自己紹介に関する表現を学ぶ。最初の挨拶の様々な表現、自分の事を紹介する時使われる項目を説明する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						李 賢珠 福江 満子
3	Getting to Know Each Other お互い知り合う（1） インタビューを通して相手のことを調べお互いの紹介をする。10項の質問を使って情報を取り出しまとめ、全員の前でパートナーの紹介をする。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：10項の質問と答えを覚えておく。						李 賢珠 福江 満子
4	Getting to Know Each Other お互い知り合う（2） 全員の紹介が終わるまで3回目の授業を行う。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。						李 賢珠 福江 満子

5	Introducing People, Places, and Things 人、物、場所の紹介（1） 身近なもの、場所、社会的な内容を紹介する。形容詞を使って色、形、性質など等を表現する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠 福江 満子
6	Introducing People, Places, and Things 人、物、場所の紹介（2） 物や場所等を表現する際に使われる時制、位置に関する表現、前置詞などを学ぶ。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。プレゼンテーション用の資料のないようをまとめておく。	李 賢珠 福江 満子
7	プレゼンテーションの練習 自分自身、身近な物事、場所等の紹介するためのプレゼンテーションを作成し練習する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の巻末の復習問題を解いておくこと。	李 賢珠 福江 満子
8	プレゼンテーションの実践 全員の前でプレゼンテーションをする。 事前学習（2時間）：前回の授業で作成したプレゼンテーションを練習する。 事後学習（2時間）：講義のまとめをすること。	李 賢珠 福江 満子
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	ミニテスト40%、期末試験（プレゼンテーション）60%	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
選択	教養 基礎	異文化コミュニケーション(中国語)	講義	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者		岡崎 桂禎：＜非常勤講師＞ (公財)高知県国際交流協会				実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
中華圏(主に台湾)における異文化や習慣などを紹介し、理解するとともに中国語(漢語)の基礎的な知識や表現力などコミュニケーション力に慣れ親しんでいくように考える。読み書きに加え話すことを重視し、授業内にペアワーク・ロールプレイ的な活動を取り入れるなど話す場面を増やす工夫をする。授業で使用する音声データを繰り返し聞くことで、より身近な環境で中国語に触れることができる。また、日常的に中国語を聞く機会を増やすことでリスニング力の向上を目指す。リハビリテーションに関する医療関連の専門用語も紹介していく。							
学 習 目 標							
1. 中国圏の文化・社会について広い知識をもつことができる。 2. 中国語(漢語)によるコミュニケーション力を向上させる。 3. 異文化・多文化に触れることで文化の違いの寛容性を身に付ける。 4. 中華圏の教育環境から異文化を理解する。							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	ガイダンス 中国語・漢字の歴史 台湾の歴史から中国語を理解する。 事前学習(2時間)：シラバスを確認し、台湾・中国語の歴史について調べておくこと。 事後学習(2時間)：配布した資料を事前に読んでおくこと。						岡崎 桂禎
2	中華圏の年中行事 年中行事から漢字文化・中国語を理解する。 事前学習(2時間)：次回の講義資料を事前に読んでおくこと。 事後学習(2時間)：次回の授業範囲を予習し、ピンインについて触れておくこと。						岡崎 桂禎
3	中国語の基礎・母音の発音 中国語の発音・ピンインの練習。 事前学習(2時間)：次回の講義資料を読み、音声データを事前に聞くこと。 事後学習(2時間)：授業で扱った内容、語彙、表現をよく復習すること。						岡崎 桂禎
4	中国語の基礎・子音の発音 中国語の発音・ピンインの練習。 事前学習(2時間)：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習(2時間)：授業で扱った内容、語彙、表現をよく復習すること。						岡崎 桂禎
5	やさしい日常会話と単語 日常生活に役立つ中国語表現を学ぶ、発音や基本文法を学ぶ。 事前学習(2時間)：次回の講義資料を読み、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習(2時間)：授業で扱った内容、語彙、表現をよく復習すること。						岡崎 桂禎

6	やさしい日常会話と医療単語 台湾の医学医療文化を知り、異文化に対する理解力向上する。 事前学習（2時間）：自分のことを簡単な中国語で表現できるように練習しておくこと。 事後学習（2時間）：課題を提出するので、次回まで仕上げて提出すること。	岡崎 桂禎
7	小・中・高・大学の教育環境から学ぶ異文化 台湾の教育環境を知り、異文化に対する理解力向上する。 事前学習（2時間）：次回の講義資料を事前に予習しておくこと。 事後学習（2時間）：課題を提示するので、次回まで仕上げて提出すること。	岡崎 桂禎
8	まとめ 講義の振り返り。自分のことを簡単な中国語で表現できるように個別で確認する。 事前学習（2時間）：自文化と異文化について興味関心があるテーマを決めて、まとめること 事後学習（2時間）：課題について作成し、提出すること。	岡崎 桂禎
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	課題提出(60%)・小テスト（40%）により総合的に評価する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項	毎日少しでも中国語に触れる時間を作ると学習に効果的である。	

履修	科目区分	授業科目	授業形態	単位数	時間数	配当年次	学期
必修	教養基礎	スポーツ実践	実習	2	30	1	前期
担当教員							
科目責任者	神家 一成：＜非常勤講師＞ 高知大学 名誉教授					実務経験のある 教員による科目	
授業概要							
本講義では、日常的で行い易い運動や非日常的で行い難い運動に取り組み、自由自在に行える心地よさや楽しさを味わったり、思い通りにならない自己の身体に出会った時の不安感やもどかしさを感じたりする体験を通して、運動と身体との関わりについて学習する。							
学習目標							
1. 各種の運動の特性（機能的、構造的、効果的）を理解する。 2. 各種の基本的な運動技能を身に付ける。 3. 自己や他者の課題を発見し、解決の方法を工夫したり他者に伝えたりすることができる。 4. 健康や安全に留意し、主体的・協働的に学習に取り組むことができる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☒ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☒ DP2 ☐ DP3 ☐ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授業計画							
回	内容						担当教員
1	オリエンテーション、体ほぐしの運動 本講義の概要、目標、内容、留意事項を理解する。体ほぐしの運動を通して交流を図る。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。						神家 一成
2	各種のストレッチング 各種のストレッチングの方法や効果を理解するとともに基本的な行い方を身に付ける。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。						神家 一成
3	ウォーキング、ジョギング 歩幅、テンポの違いと運動負荷（心拍数）の関係性について実践を通して理解する。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。						神家 一成
4	コーディネーショントレーニング、組み体操 日常では体験しない不慣れた運動に取り組み、新たなコツやカンとの出会いを体験する。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。						神家 一成
5	バランスボールを使った運動① バランスボールを用いたストレッチングやレジスタンストレーニングの運動を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。						神家 一成

6	バランスボールを使った運動② バランスボールを用いて、各種の姿勢でのバランス保持運動や一般的ボール運動を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
7	ボールを使った運動 ボールを活用して巧技的な運動に取り組み、新たなコツやカンとの出会いを体験する。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
8	ボールを使ったスポーツゲーム① ネット型ボールゲーム（バレーボール、ソフトバレーボール、バドミントン）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
9	短なわとび： 短縄を用いて各種の跳躍運動（移動跳び、ペア跳び、各種一跳躍二回旋跳び）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
10	長なわとび：シングルロープ 1本の長縄を用いて各種の跳躍運動（直交、斜交、平行等）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
11	長なわとび：ダブルダッチ 2本の長縄を用いてダブルダッチの各種の跳躍運動を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
12	リングを使った運動 リングを用いて各種の運動（回す、転がす、投げる、捕る、くぐり抜ける等）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
13	フライングディスクを使った運動 フライングディスクを用いて各種の運動（投げる、捕る）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
14	フライングディスクを使ったゲーム フライングディスクを用いて各種のゲーム（ドッチビー、アルテミット等）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
15	ボールを使ったスポーツゲーム② ゴール型ボールゲーム（バスケットボール、フットサル等）を行う。 事前学習（2時間）：本授業の内容に関する基礎的な予備知識を得ておくこと。 事後学習（2時間）：授業を振り返って授業内容と実施した運動の感想を記録すること。	神家 一成
教科書	ハンドアウト資料	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	知識(25%)：小レポート 技能(25%)：スキルテストと学習活動の観察 思考力・判断力・表現力(25%)：小レポートと学習活動の観察 態度(25%)：学習活動の観察	

オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。
留意事項	○授業中に体験したスキルを復習として繰り返し体験すること。日常より運動習慣を身につけ、ケガのないように取り組むことができる体づくりを心がけること。 ○スポーツ活動に相応しい服装と体育館用のシューズ、提供されたビブスを着用すること。 ○授業中の水分補給を許可する。ただし、フロアを濡らさないように留意すること。 ○許可された場合以外は、授業中のスマートフォンの使用を禁止する。

專 門 基 礎 科 目

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	解剖学 I	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	大迫 洋治：博士(獣医学)＜非常勤講師＞ 高知大学 医学部解剖学講座 准教授					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
本科目では人体を構成する細胞および4つの基本組織について学習し、これらによって成り立っている骨、筋および神経系（特に末梢神経系）の構造について具体的に理解できるよう講義する。骨、筋、神経が運動において密接に関与し合っていることを理解する。							
学 習 目 標							
1. 細胞の基本構造および身体がどのような基本組織で構成されているかを理解する。 2. 人体を構成する骨および骨格の構造やその機能について理解する。 3. 人体の運動に関与する骨格筋について理解する。 4. 脳神経および脊髄神経について理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						○
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	学習の進め方：オリエンテーション、総論1：人体の構成単位 人体が、細胞、組織、器官、器官系により構成されることについて理解する。 事前学習（2時間）：入学前課題を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治
2	総論2：身体の区分・面や方向を示す用語 矢状面、冠状面、水平面における断面象ついて理解する。人体の方向および運動方向について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治
3	総論3：骨・関節・筋・神経の構造 骨・関節の一般構造について理解する。種々の視点から筋を分類できるようにする。神経系の構成について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治
4	上肢1：上肢の骨・関節 自由上肢を構成する骨と主要な骨部位を理解する。上肢の関節の構成および関節の形状・動きについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治

5	上肢2：上肢帯・上腕の筋 上肢帯を構成する骨と主要な骨部位を理解する。上腕の筋の起始・停止、関節に対する作用を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
6	上肢3：前腕・手の筋 前腕・手の筋の起始・停止、関節に対する作用を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
7	上肢4：腕神経叢 腕神経叢の構成を理解する。主な終枝の走行および支配筋を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
8	下肢1：下肢の骨・関節 自由下肢を構成する骨と主要な骨部位を理解する。下肢の関節の構成および関節の形状・動きについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
9	下肢2：下肢帯・大腿の筋 下肢帯を構成する骨と主要な骨部位を理解する。大腿の筋の起始・停止、関節に対する作用を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
10	下肢3：下腿・足の筋 下腿・足の筋の起始・停止、関節に対する作用を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
11	下肢4：腰神経叢・仙骨神経叢 腰神経叢・仙骨神経叢の構成を理解する。主な終枝の走行および支配筋を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
12	頭頸部・体幹1：頭部の骨、椎骨、胸郭の骨 頭蓋を構成する骨と縫合、椎骨の基本形態と各椎骨の特徴、胸郭を構成する骨について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
13	頭頸部・体幹2：頭頸部と体幹の関節 顎関節の構造、頭蓋と頸椎の連結、脊柱の連結、肋骨の関節について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
14	頭頸部・体幹3：頭頸部の筋、体幹の筋（胸部の筋） 顔面筋と咀嚼筋について理解する。浅頸筋と深頸筋、浅胸筋と深胸筋について起始・停止、関節に対する作用を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治

15	頭頸部・体幹4：体幹の筋（腹部・背部・骨盤底の筋） 腹壁の筋の構成について理解する。背部の浅層・中間層・深層の筋の作用の違いを理解する。後頭下筋群を理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
教科書	1. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版：坂井建雄 著、医学書院 2019年 2. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 第2版 坂井建雄 町田志樹 羊土社 2023	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	事後学習課題30%，期末試験70%で評価をします。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	解剖学Ⅱ	講義	2	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	大迫 洋治：博士(獣医学)＜非常勤講師＞ 高知大学 医学部解剖学講座 准教授					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
本科目では中枢神経系の構造について学習し、運動および感覚情報がどのように伝導されるか理解する。さらに、内臓についても学習する。構造物の名称を正確に覚えることはもちろんのこと、それぞれの構造物が機能を発揮するために都合のよい形に分化し、互いに協調し合って、体全体の機能を担っていることを理解する。							
学 習 目 標							
1. 脳と脊髄の構造を理解し、運動と感覚の伝導路について説明できる。 2. 心臓の構造について理解する。 3. 肺の構造と呼吸運動について説明できる。 4. 消化管の位置・形態・機能について簡単な絵を描いて説明できる。 5. 消化管の位置・形態・機能について簡単な絵を描いて説明できる。 6. 腎臓の構造および尿路について説明できる。 7. 受精から誕生まで、ヒトの発生についての概略を説明できる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						○
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	神経系 1：灰白質・白質・脳室・髄膜 大脳の灰白質と白質の違い、脳室のつながりと脳脊髄液の循環路、髄膜の3層構造について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治
2	神経系 2 大脳の主な溝と回、ブレインマップ・機能局在、大脳基底核、間脳について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治
3	神経系 3：小脳・脳幹 小脳の層構造と神経回路について理解する。脳幹の構成と機能について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治
4	神経系 4：脊髄の下行路・上行路（感覚の分類） 皮質脊髄路、皮質核路について理解する。感覚の分類と各感覚の伝導路の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。						大迫 洋治

5	感覚器系：視覚器・平衡聴覚器 眼球壁の構造と眼球内容物、内眼筋と外眼筋について理解する。蝸牛・前庭・半規管の構造について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
6	循環器系1：肺循環と体循環・リンパ・血管の構造 肺循環と体循環、リンパ循環の構成について理解する。血管壁の構造について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
7	循環器系2：心臓 心臓を出入りする血管、弁について理解する。心臓壁の構造と血管について理解する。刺激伝道系について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
8	循環器系3：全身の動静脈・脳底の動脈 全身の主な動静脈の走行について理解する。門脈系について理解する。脳底の動脈・大脳動脈輪について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
9	呼吸器系1：鼻・喉頭・気管・気管支 気道について理解する。喉頭の軟骨・筋について理解する。気管と気管支の構造について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
10	呼吸器系2：肺 右肺と左肺の構造の違い、肺胞の構造の特徴、胸膜と胸膜腔について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
11	消化器系1：口腔・舌・歯・咽頭・食道 歯の種類・構造、唾液腺の種類、舌の運動・味覚、咽頭と喉頭の違い、食道の筋・生理的狭窄部位について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
12	消化器系2：胃・小腸・大腸 胃の外形・胃壁・胃腺、小腸の各部位・大腸の各部位の構造の特徴、小腸壁と大腸壁の違いについて理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
13	消化器系3：肝臓・膵臓 肝臓の葉・脈管・肝門について理解する。胆道について理解する。膵臓の構造、導管と十二指腸とのつながりを理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
14	泌尿器系：腎臓・尿管・膀胱・尿道 腎臓の構造について理解する。尿が生成されて排泄されるまでの尿路について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治

15	生殖器系：生殖器 男性と女性の生殖器の違いについて理解する。会陰について理解する。 事前学習（2時間）：講義テーマについて、教科書を読み、解剖学用語確認しておくこと。 事後学習（2時間）：復習問題の解答を提出すること。	大迫 洋治
教科書	1. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版：坂井建雄 著、医学書院 2019年 2. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 第2版 坂井建雄 町田志樹 羊土社 2023	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	事後学習課題30%，定期試験70%で評価をします。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	骨学筋学 I	演習	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者		稲富 惇一：博士（医学）作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目
授 業 概 要							
医療者にとって人体の構造を理解することは必須である。とりわけ、理学療法士や作業療法士には運動器（骨や筋など）についての深い知識が求められる。しかし、1つ1つの骨の形態、複数の骨の連結で構成される関節の構造および筋の走行は立体的で、それらの協調作用により生じる運動も複雑で立体的であるため、テキストやアトラスによる平面的な情報だけでは十分に理解することが難しい。本演習では、上肢と下肢について、各種模型を用いて骨の部位や筋の起始停止を確認し、さらに骨を連結させ動かすことで、骨の形態や筋の走向、関節の動きについて立体的にイメージできるようにする。本演習により、運動器に対する機能的理解を深め、その後の運動学や整形外科学、体表解剖学、評価学などの学習に有機的につながり、将来の理学療法士・作業療法士としての臨床推論能力向上にもつなげていって欲しい。							
学 習 目 標							
1. 代表的な骨の部位名とその形態的意義を説明できる。 2. 骨を正しく連結し、形成される関節を動かす主な筋とその運動学的特徴を説明できる。 3. 代表的な骨の部位と筋を体表から触知できる。							
対応CP		CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目
対応DP		DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐					
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	総論 骨の部位名とその形態的意義 事前学習（2時間）：入学前課題を確認し、該当する教科書の内容を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。						稲富 惇一
2	上肢1 上肢の骨・関節 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。						稲富 惇一
3	上肢2 上肢帯・上腕の筋 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。						稲富 惇一

4	上肢3 前腕・手の筋 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
5	下肢1 下肢の骨・関節 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
6	下肢2 大腿の筋 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
7	下肢3 下腿・足の筋 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
8	まとめ 上肢・下肢の骨・筋に関して整理し、実際の臨床場面での応用について理解する。 事前学習（2時間）：今までの講義の総復習をし、まとめておくこと 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、総復習し定期試験に備えること。	稲富 惇一
教科書	1. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 第2版 坂井建雄 町田志樹 羊土社 2023 2. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 坂井建雄 医学書院 2019	
参考図書	1. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013	
成績評価	定期試験80%、授業中の課題20%、合計100%で評価する。	
オフィスアワー	岡部：火曜日 5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	骨学筋学Ⅱ	演習	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	稲富 惇一：博士（医学）作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
医療者にとって人体の構造を理解することは必須である。とりわけ、理学療法士や作業療法士には運動器（骨や筋など）についての深い知識が求められる。しかし、1つ1つの骨の形態、複数の骨の連結で構成される関節の構造および筋の走行は立体的で、それらの協調作用により生じる運動も複雑で立体的であるため、テキストやアトラスによる平面的な情報だけでは十分に理解することが難しい。本演習では、頭頸部と体幹について、各種模型を用いて骨の部位や筋の起始停止を確認し、さらに骨を連結させ動かすことで、骨の形態や筋の走向、関節の動きについて立体的にイメージできるようにする。加えて、頭蓋底の孔を通過する脳神経や脳血管の走行や骨盤における胎児の産道についても立体的に理解する。本演習により、骨・筋に対する機能的理解を深め、整形外科学、神経内科学、脳外科学、産科学など臨床医学の理解に幅広く応用して欲しい。							
学 習 目 標							
1. 頭蓋底の孔を通過する脳神経や脳血管の走行をたどることができる。 2. 骨を正しく連結し、形成される関節を動かす主な筋とその運動学的特徴を説明できる。 3. 骨盤腔の広がりや産道を立体的にイメージできる。 4. 代表的な骨の部位と筋を体表から触知できる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	頭蓋骨 頭蓋骨を構成する骨 事前学習（2時間）：入学前課題を確認し、解剖学Ⅰ、該当する教科書の内容を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。						稲富 惇一
2	脊柱 頸椎・胸椎・腰椎・仙骨の特徴 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。						稲富 惇一
3	胸郭の骨 胸郭を構成する骨 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。						稲富 惇一

4	骨盤 骨盤を構成する骨 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
5	体幹1 頭頸部と体幹の関節・靱帯 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
6	体幹2 頭頸部の筋 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
7	体幹3 体幹（胸部）の筋 事前学習（2時間）：解剖学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して、用語を調べた上で授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習をすること。	稲富 惇一
8	体幹4 体幹（腹部・背部・骨盤底）の筋 事前学習（2時間）：今までの講義の総復習をし、まとめておくこと 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、総復習し定期試験に備えること。	稲富 惇一
教科書	1. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 第2版 坂井建雄 町田志樹 羊土社 2023 2. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 坂井建雄 医学書院 2019	
参考図書	1. 骨格筋の形と触察法 第2版 河上敬介、磯貝香(著) 大峰閣 2013	
成績評価	定期試験80%、授業中の課題20%、合計100%で評価する。	
オフィスアワー	岡部：火曜日 5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	生理学 I	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	梶 秀人：保健学博士，医学博士，農学博士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
人体の機能は、二つの群に大別される。血液循環、呼吸、消化吸収、内分泌などのように生命を維持する働きと、神経、感覚、運動などのように生命を活用する働きである。前者を植物性機能、後者を動物性機能と呼ぶ。生理学Iではリハビリテーションに深く関わる動物性機能について学修する。近年、脳卒中によって手足が麻痺しても、リハビリテーションによって運動機能が回復するメカニズムが神経可塑性で説明できるようになった。この神経可塑性のメカニズムについても理解を深める。							
学 習 目 標							
1. 生体機能系について理解する。 2. 神経・筋の基本的機能について理解する。 3. 神経系の機能について理解する。 4. 感覚機能・運動機能・脳機能の生理機能を理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						○
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	生理学とは 序論 生体機能系、内部環境、ホメオスタシス、制御機構について解説します。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、指定した教科書の講義範囲を事前に一読し、用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。						梶 秀人
2	神経の基本的機能 静止膜電位、活動電位、興奮の伝導、シナプス伝達とその可塑性について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。						梶 秀人
3	筋肉の基本的機能 筋収縮の仕組み、興奮収縮連関、骨格筋と平滑筋・心筋との比較について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。						梶 秀人
4	神経系の機能/概説 中枢神経系、末梢神経系（体性神経系と自律神経系）について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。						梶 秀人

5	感覚機能（1） 体性感覚と内臓感覚について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
6	感覚機能（2） 聴覚・平衡感覚について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
7	感覚機能（3） 視覚・味覚について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
8	感覚機能（4） 嗅覚について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
9	運動機能（1） 筋と運動ニューロンについて解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
10	運動機能（2） 脊髄、脳幹について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
11	運動機能（3） 大脳皮質、大脳基底核、小脳について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
12	大脳皮質連合野 大脳皮質連合野の機能について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
13	高次神経機能（1） 発達脳の可塑性、脳の部分損傷後の神経回路の再構成について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
14	高次神経機能（2） 学習と記憶について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人

15	高次神経機能（3） 情動、覚醒と睡眠について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
教科書	1. シンプル生理学 改訂第8版 貴邑 富久子、根来 英雄 著 南江堂 2021	
参考図書	1. 標準生理学 第9版 本間研一 監修 医学書院 2019 2. カラー図解 人体の正常構造と機能 坂井建雄、河原克雅 編集 日本医事新報社 2021	
成績評価	中間試験(第1～8回の範囲)と定期試験(第9～15回の範囲)の2回の試験を実施します。 成績は中間 50%、学期末 50%で評価をします。	
オフィスアワー	水曜日 12時30分～13時。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	生理学Ⅱ	講義	2	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	梶 秀人：保健学博士，医学博士，農学博士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
人体の機能は、二つの群に大別される。血液循環、呼吸、消化吸収、内分泌などのように生命を維持する働きと、神経、感覚、運動などのように生命を活用する働きである。前者を植物性機能、後者を動物性機能と呼ぶ。生理学Ⅱでは、植物性機能が多くの分子群や細胞群の働きと、その相互作用によって、さらにはそれらが作り上げる器官や個体レベルの働きによってどのように統御され、全体としてホメオスタシスを維持しているかについて学修する。							
学 習 目 標							
1. 内分泌について理解する。 2. 生殖機能について理解する。 3. 消化と吸収について理解する。 4. 血液機能について理解する。 5. 呼吸・循環機能について理解する。 6. 腎機能について理解する。 7. 体温調節機能について理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐					○	
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	内分泌（1） 内分泌総論、視床下部-下垂体系について解説します。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、指定した教科書の講義範囲を事前に一読し、用語を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。					梶 秀人	
2	内分泌（2） 甲状腺・カルシウム代謝について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。					梶 秀人	
3	内分泌（3） 副腎・膵島の機能について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。					梶 秀人	
4	生殖（1） 生殖腺・脳の性分化、思春期、女性・男性の生殖機能について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。					梶 秀人	

5	消化と吸収（1） 消化管の機能の概要、唾液、胃液について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
6	消化と吸収（2） 膵液、胆汁、運動について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
7	消化と吸収（3） 消化、吸収について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
8	血液（1） 血球、止血、血液型について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
9	循環（1） 心臓、心周期、血液循環について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
10	循環（2） 心電図について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
11	循環（3） 循環系の調節について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
12	呼吸（1） 呼吸のメカニズムについて解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
13	呼吸（2） ガス交換、呼吸調節について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
14	腎臓（1） 尿生成、尿の濃縮、水・電解質・pHの調節について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人

15	体温調節 体温とその調節機能について解説します。 事前学習（2時間）：指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題に取り組み、紹介した動画を見ること。	梶 秀人
教科書	1. シンプル生理学 改訂第8版 貴邑 富久子、根来 英雄 著 南江堂 2021	
参考図書	1. 標準生理学 第9版 本間研一 監修 医学書院 2019 2. カラー図解 人体の正常構造と機能 坂井建雄、河原克雅 編集 日本医事新報社 2021	
成績評価	中間試験(第1～7回の範囲)と定期試験(第8～15回の範囲)の2回の試験を実施します。 成績は中間 50%, 学期末 50%で評価をします。	
オフィス アワー	水曜日 12時30分～13時。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	生理学演習 I	演習	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	梶 秀人：保健学博士 医学博士 農学博士					実務経験のある 教員による科目	
	箭野 豊：修士（医科学）作業療法士 萩原 賢二：修士（学術）作業療法士						
授 業 概 要							
生理学演習Iではリハビリテーションに深く関わる神経系を理解することを目的とする。具体的には、身体の制御に関わる中枢神経系と末梢神経系の機能に加えて、体性感覚と平衡感覚の機能について学修し、腱反射やバランス能力の測定について実技を交えて理解を深める。							
学 習 目 標							
1. 神経の生理について理解する。 2. 神経系の生理について理解する。 3. 感覚の生理について理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	神経の生理① ニューロン・シナプス・活動電位について解説します。 事前学習（2時間）：生理学 I の復習と、指定した教科書の講義範囲を事前に読み、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、まとめておくこと。						梶・箭野・萩原
2	神経の生理② ニューロン・シナプス・活動電位について描画・ティーチバック法を使用して理解を深めます。 事前学習（2時間）：生理学 I の復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、描画・ティーチバック法を完成させること。						梶・箭野・萩原
3	神経系の生理③ 中枢神経系・末梢神経系・腱反射について解説します。 事前学習（2時間）：生理学 I の復習も併せて、各授業の主題について教科書を復習し、一読して授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに練習問題に取り組むことをすること。						梶・箭野・萩原

4	神経系の生理④ 中枢神経系・末梢神経系・腱反射について描画・ティーチバック法を使用して理解を深めます。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、描画・ティーチバック法を完成させること。	梶・箭野・萩原
5	神経系の生理⑤ 腱反射検査の測定の実践を行います。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、各部位の腱反射検査ができるように練習に取り組むことをすること。	梶・箭野・萩原
6	感覚の生理①： 平衡感覚と体性感覚について解説します。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、練習問題に取り組むことをすること。	梶・箭野・萩原
7	感覚の生理②： 体性感覚（表在感覚・深部感覚）、バランス能力（重心動揺検査）の測定の実践を行います。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読して授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、バランス能力検査ができるよう練習に取り組むこと。	梶・箭野・萩原
8	まとめ 生理学の知識を整理し、臨床実践との関係性を解説します。 事前学習（2時間）：今までの講義の総復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：定期試験に向けて講義の総復習に取り組むこと。	梶・箭野・萩原
教科書	1. シンプル生理学 改訂第8版 貴邑 富久子、根来 英雄 著 南江堂 2021	
参考図書	1. 標準生理学 第9版 本間研一 監修 医学書院 2019 2. カラー図解 人体の正常構造と機能 坂井建雄、河原克雅 編集 日本医事新報社 2021	
成績評価	随時実施する課題40%，定期試験60%，	
オフィスアワー	梶：水曜日 12時30分～13時、近藤・渡邊：金曜日 5時限目、箭野：月曜日 5 限、萩原：金曜日5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	生理学演習Ⅱ	演習	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	梶 秀人：保健学博士 医学博士 農学博士					実務経験のある 教員による科目	
	箭野 豊：修士（医科学）作業療法士 萩原 賢二：修士（学術）作業療法士						
授 業 概 要							
生理学演習Ⅱでは、主に循環と呼吸の生理に関する思考力をつけるために、実際の臓器の部位や機能の描画やティーチバック法を用いて理解度を確認する。また、実際に循環および呼吸の対象者に行う理学療法・作業療法評価・治療を体験し、必要な生理学の基礎知識を身に付ける。							
学 習 目 標							
1. 循環の生理を理解する 2. 呼吸の生理を理解する 3. 循環と呼吸の生理について、理解したことが説明できる							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐ ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	循環の生理① 心臓・血管・心拍数の生理学について説明します。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、練習問題に取り組むことをすること。						梶・箭野・萩原
2	循環の生理② 心臓・血管・心拍数の生理学について描画・ティーチバック法を使用して理解を深めます。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、描画・ティーチバック法を完成させること。						梶・箭野・萩原
3	循環の生理③ 心臓・血管・心拍数の生理学について描画・ティーチバック法を使用して理解を深めます。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、描画・ティーチバック法を完成させること。						梶・箭野・萩原

4	呼吸の生理① ガス交換・肺容積の区分・呼吸調整の生理学について説明します。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、練習問題に取り組むことをすること。	梶・箭野・萩原
5	呼吸の生理：（描画・ティーチバック法） ガス交換・肺容積の区分・呼吸調整の生理学について描画・ティーチバック法を使用して理解を深めます。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、描画・ティーチバック法を完成させること。	梶・箭野・萩原
6	呼吸の生理③： スパイロメーターの測定を通じて肺活量の理解を深めます。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、練習問題に取り組むことをすること。	梶・箭野・萩原
7	呼吸の生理④： 呼吸リハビリテーション（呼吸法・呼吸介助）の解説をし、実際に体験をします。 事前学習（2時間）：生理学Ⅰ・Ⅱの復習も併せて、各授業の主題について教科書を一読し授業に臨むこと。 事後学習（2時間）：教科書・配布資料・ノートなどを参考にして、主題ごとに復習し、練習問題に取り組むことをすること。	梶・箭野・萩原
8	まとめ 循環・呼吸の生理学と臨床実践との関係性を解説します。 事前学習（2時間）：今までの講義の総復習をしておくこと 事後学習（2時間）：定期試験に向けて講義の総復習に取り組むこと。	梶・箭野・萩原
教科書	1. シンプル生理学 改訂第8版 貴邑 富久子、根来 英雄 著 南江堂 2021	
参考図書	1. 標準生理学 第9版 本間研一 監修 医学書院 2019 2. カラー図解 人体の正常構造と機能 坂井建雄、河原克雅 編集 日本医事新報社 2021	
成績評価	随時実施する課題40%，定期試験60%，	
オフィスアワー	梶：水曜日 12時30分～13時、近藤・渡邊：金曜日 5時限目、箭野：月曜日 5 限、萩原：金曜日5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	身体運動学Ⅰ	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	箭野 豊：修士（医科学）作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
運動学とは、身体の運動に関する仕組みを研究する学問であり、人体がおこなう種々の動作を運動として把握し、分析する学問である。この科目では、その理解のための基礎となる力学、身体構造について学び、後半では下肢の運動学的事項を学んでいく。1年生後期に履修する身体運動学Ⅱとあわせることで四肢・体幹を含む身体各部の運動学的知識を深めていく。具体的には、関節の構造、姿勢について、てこ、筋収縮メカニズム、運動の神経機構、股関節・膝関節・足関節の運動学について理解を深める。							
学 習 目 標							
1. 運動に関する原理・理論を理解する。 2. 運動に関する身体の構造と機能の関係を理解する。 3. 運動に必要な筋収縮やてこについて理解する。 4. 股関節・膝関節・足関節の運動について理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						○
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	運動学総論 運動とは？ 運動学の重要性、臨床場面との関わりを説明する。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、指定した教科書の講義範囲を事前に読んでおくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊
2	身体各部の名称 運動を表現する上で必要な用語について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認しまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊
3	関節の構造と分類 滑膜関節の構造、関節の形状、運動の面と軸について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認しまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊
4	身体運動の基礎 関節運動方向の名称について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認しまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊

5	姿勢の分類 姿勢の安定性に関する重心位置との関係性について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
6	筋の構造と分類 筋収縮のメカニズム、筋収縮の様態について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
7	運動力学の基礎 身体運動を理解するためのこ、関節モーメント、床反力について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
8	前半部分の総復習 前半部分の総復習として試験と解説を通して知識の定着を図る。 事前学習（2時間）：総復習のテストを行うので、該当資料を確認しまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
9	運動の神経機構 運動の神経機構・運動制御のメカニズムについて解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
10	骨盤帯と股関節の運動1 骨盤帯・股関節の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
11	骨盤帯と股関節の運動学2 股関節・骨盤帯運動に関与する筋、運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
12	膝関節の運動学1 膝関節の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
13	膝関節の運動学2 膝関節運動に作用する筋、運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
14	足関節の運動学1 足関節の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊

15	足関節の運動学2 足関節運動に作用する筋，運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。 定期試験に向けて範囲の総復習に取り組むこと。	箭野 豊
教科書	1. 基礎運動学 第7版 中村隆一・齋藤 宏・長崎 浩著 医歯薬出版	
参考図書	1. エッセンシャルキネシオロジー Donald A.Neumann 弓岡光徳ら訳 南江堂	
成績評価	随時実施する確認テスト20%，中間試験40%、定期試験60%で評価する。	
オフィスアワー	箭野：火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	必要に応じて資料を配布するので参考にすること。運動学はメカニズムの理解が必要であるため、理解を伴った学習を心がけること。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	身体運動学Ⅱ	講義	2	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	箭野 豊：修士（医科学） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
運動学とは、身体の運動に関する仕組みを研究する学問であり、人体がおこなう種々の動作を運動として把握し、分析する学問である。この科目は1年生前期に履修する身体運動学Ⅰとあわせることで身体各部の運動についてと歩行を中心に姿勢や日常生活動作の運動学的分析に対する知識を身につける。具体的には、体幹・上肢帯（肩関節・肘関節・手関節・手指）の運動学、歩行の運動学、姿勢、日常生活動作（基本動作・応用動作）について理解を深める。							
学 習 目 標							
1．体幹の運動についてを理解する。 2．肩関節の運動についてを理解する。 3．肘関節の運動についてを理解する。 4．手関節の運動についてを理解する。 5．歩行の運動学について理解する。 6．日常生活動作（基本動作・応用動作）について理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						○
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	体幹の運動学1 体幹の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：シラバスを確認し、指定した教科書の講義範囲を事前に読んでおくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊
2	体幹の運動学2 体幹運動に作用する筋、運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認しまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊
3	上肢帯と肩関節の運動学1 上肢帯と肩関節の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認しまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。						箭野 豊

4	上肢帯と肩関節の運動2 上肢帯と肩関節運動に作用する筋、運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
5	肘関節と前腕の運動学1 肘関節と前腕の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
6	肘関節と前腕の運動学2 肘関節と前腕の運動に作用する筋、運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
7	手関節と手指の運動学1 手関節と手指の機能解剖、運動学的特徴（骨運動学・関節運動学）を解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
8	手関節と手指の運動学2 手関節と手指運動に作用する筋、運動機能について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
9	前半部分の総復習 前半部分の総復習として試験と解説を通して知識をの定着を図る。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
10	歩行の運動学1 歩行周期の相、各関節の運動、筋活動について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
11	歩行の運動学2 歩行の力学（床反力）、神経機構について説明する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
12	姿勢について 立位姿勢と重心動揺、姿勢制御のメカニズムについて解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
13	動作の分析1 起き上がり、立ち上がりなどの基本動作について解説する 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊

14	動作の分析2 日常生活動作の応用動作について解説する。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。	箭野 豊
15	運動学の総まとめ 前期の運動学も含め、問題を通して理解を深める。 事前学習（2時間）：講義の最初に確認テストを行うので、該当資料と教科書を確認し まとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習問題、確認テストの復習に取り組むこと。 定期試験に向けて範囲の総復習に取り組むこと。	箭野 豊
教科書	1. 基礎運動学 第7版 中村隆一・齋藤 宏・長崎 浩著 医歯薬出版	
参考図書	1. エッセンシャルキネシオロジー Donald A. Neumann 弓岡光徳ら訳 南江堂	
成績評価	随時実施する確認テスト40%，定期試験60%，	
オフィスアワー	箭野：火曜日 5 限。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項	必要に応じて資料を配布するので参考にすること。運動学はメカニズムの理解が必要であるため、理解を伴った学習を心がけること。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	人間発達学	講義	2	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	宮本 謙三：博士（医学）理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
人間の生涯にわたる発達の变化を心理、運動、形態などの面から概観する。発達心理学の領域ではエリクソンの発達理論を軸に展開し、運動発達や形態的变化については乳幼児期を中心に詳しく講義する。また、理学療法士や作業療法士に必要な発達検査や発達障害についても触れる。							
学 習 目 標							
1．乳幼児期における身体の形態的变化を説明できる。 2．乳幼児期の運動発達の变化と神経系の成熟過程とを関連づけて説明できる。 3．発達に影響を及ぼす要因をあげることができる。 4．代表的な発達理論を説明できる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	人類の進化 進化／遺伝と環境／成熟と学習について 事前学習（2時間）：人間発達学の位置づけを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の「狼に育てられた人間」を読むこと。						宮本 謙三
2	発達の原則 発達の順序性／連続性／方向性／異速性について 事前学習（2時間）：幼少期の教育の実像について調べておくこと。 事後学習（2時間）：発達の原則を復習し、子どもの未熟性について整理すること。						宮本 謙三
3	人間の成長と発達の基礎的理解 形態発達／生理的発達について 事前学習（2時間）：ヒトの形態的特徴と他の脊椎動物を比較しておくこと。 事後学習（2時間）：成人と子供の相違点を整理すること。						宮本 謙三
4	発達理論① ピアジェの発達理論について 事前学習（2時間）：心理学者ピアジェの生涯とその時代背景について調べること。 事後学習（2時間）：ピアジェが社会に与えた影響について考察すること。						宮本 謙三
5	発達理論② エリクソン／その他の発達理論について 事前学習（2時間）：心理学者エリクソンの生涯と時代背景について調べること。 事後学習（2時間）：フロイトやコールバーグなど各発達理論を比較しまとめること。						宮本 謙三

6	運動発達① 運動発達の原則について 事前学習（2時間）：脳の生理学について復習しておくこと。 事後学習（2時間）：運動の成熟と脳の変化についてまとめること。	宮本 謙三
7	運動発達② 乳幼児期の運動発達について 事前学習（2時間）：乳幼児のマイルストーンまとめておくこと。 事後学習（2時間）：母子相互作用について整理しておくこと。	宮本 謙三
8	運動発達③ 姿勢反射について 事前学習（2時間）：脳の階層性理論について概要を整理すること。 事後学習（2時間）：各種姿勢反射を階層別に整理すること。	宮本 謙三
9	認知発達① 知覚の発達について 事前学習（2時間）：感覚の生理学的分類について学修しておくこと。 事後学習（2時間）：感覚と運動の関連性についてまとめること。	宮本 謙三
10	認知発達② 言語の発達について 事前学習（2時間）：表出言葉の発達段階について調べておくこと。 事後学習（2時間）：記憶の構造と分類および生理学的変化についてまとめること。	宮本 謙三
11	社会性の発達 社会性／情緒／道徳性の発達について 事前学習（2時間）：社会性の発達に関する理論を調べておくこと。 事後学習（2時間）：道徳性発達理論について考えをまとめること。	宮本 謙三
12	発達検査 知的発達／運動発達の発達検査について 事前学習（2時間）：現在活用されている発達検査・知能検査を収集しておくこと。 事後学習（2時間）：各種発達検査の適用を整理すること。	宮本 謙三
13	青年期～老年期 青年期の特徴／老年期の特徴について 事前学習（2時間）：ライフステージにおける心の変化をまとめること。 事後学習（2時間）：青年期・老年期の特徴と社会的役割をまとめること。	宮本 謙三
14	発達障害 発達における正常と異常について 事前学習（2時間）：現代における発達期の障害とその特徴について整理すること。 事後学習（2時間）：発達障害に対するリハビリテーションの現状をまとめること。	宮本 謙三
15	まとめ 人の発達についての総まとめ 事前学習（2時間）：各単元の学修の要点を整理しておくこと。 事後学習（2時間）：学修課題を提示するので試験に向けて準備すること。	宮本 謙三
教科書	1. 看護のための人間発達学 舟島なをみ（著） 医学書院	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験100%により評価する。	

オフィスアワー	講義後に質問を受けつけます。 また、教員に直接アポイントメントを取ってください。
留意事項	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	病理学	講義	2	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	椋 清美：博士（保健学）＜非常勤講師＞ 高知学園大学健康科学部臨床検査学科 教授					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
病理学は、種々の疾患あるいは病気の本態を主として形態学的立場から明らかにし論じるものである。講義により疾患の形態学的変化を中心に、機能面にも考慮しながら疾患の概念や病態を理解するとともに、病変と臨床事項との関連が考慮できるように学習する。							
学 習 目 標							
1．病理学総論は、各器官系・臓器にみられる種々の疾患の基礎的理解に極めて重要であり、要点を把握するよう心掛ける。 2．病理学各論としての各臓器や器官系における主要な疾患は、総論の中で適宜学習する。 3．疾患の構造基本単位を理解し、相互に密接な関連のあることを説明できる。 4．各々の病態における組織学的変化を説明できる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	病理学総論 病因（外因・内因） 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						椋 清美
2	細胞・組織の障害と修復 退行性・進行性病変 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						椋 清美
3	循 環 障 害① 体循環の機構 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						椋 清美
4	循 環 障 害② 全身循環障害、局所循環障害 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						椋 清美
5	炎症と免疫① 炎症（原因、経時的変化、種類、転帰、全身への影響） 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						椋 清美

6	炎症と免疫② 炎症の四徴、急性炎症、慢性炎症、組織修復、肉芽組織、適応反応 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
7	感染症① 種々の感染症（細菌感染症、真菌感染症など、免疫とアレルギー） 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
8	感染症② （感染症の成立、感染経路・様式、生体の感染防御機構、病理的特徴） 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
9	代謝障害① 蛋白質・アミノ酸代謝異常、核酸代謝異常 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
10	代謝障害② 脂質代謝異常、糖質代謝異常 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
11	先天異常と遺伝子異常① 先天異常、奇形 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
12	先天異常と遺伝子異常② 遺伝的疾患、染色体異常 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
13	腫瘍総論① 定義、生物学的特徴、形態、発生要因（外因・内因） 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
14	腫瘍総論② 悪性腫瘍の転移、進行度、発がんのメカニズム 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
15	まとめ 各種章のまとめ、理学・作業療法との関連 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめること。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	椋 清美
教科書	カラーで学べる病理学 第5版 / ヌーヴェルヒロカワ	
参考図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 大橋健一ほか（編） 医学書院 2. 図解入門 よくわかる 病理学の基本としくみ 田村浩一（著） 秀和システム	
成績評価	定期試験（80％）を基準に、授業中の課題（20％）を考慮し評価する。	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	リハビリテーション医学	2	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	井上 佳和：修士(教育学) 理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
リハビリテーション医学は、治療医学、予防医学に次ぐ第三の医学ともいわれます。そこには疾病を対象とする治療医学とは異なり、障害を対象にした医学的アプローチであるという特徴があります。 この科目では、リハビリテーション医学における診断と評価、アプローチ方法、そして理学療法や作業療法の役割を概説し、主な対象障害の特性と介入法について講義します。							
学 習 目 標							
1. リハビリテーション医学の特殊性を説明できる。 2. 代表的な対象障害を列举し、その病態を説明できる。 3. リハビリテーション医学で用いる診断・評価法を説明できる。 4. 理学療法・作業療法の介入手段を説明できる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	関節可動域障害 関節分類、可動関節分類、関節可動域テスト 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						井上 佳和
2	筋萎縮・筋力低下 筋の種類、骨格筋の構造、滑走説、筋収縮の種類、筋力トレーニング 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						井上 佳和
3	感覚障害 感覚とは、病変部位別の感覚障害の特徴 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						井上 佳和
4	運動麻痺 運動麻痺とは、運動麻痺の症状、回復過程 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						井上 佳和
5	骨折 骨折と修復過程、医学的治療とリハビリテーション 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。						井上 佳和

6	脊髄損傷 脊髄の解剖、高位診断、脊髄損傷のリハビリテーション 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	井上 佳和
7	神経筋疾患 パーキンソン病・脊髄小脳変性症に対するリハビリテーション 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	井上 佳和
8	まとめ リハビリテーション医学に関するまとめ 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語などを調べてまとめておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料の復習、関連する資料についてまとめること。	井上 佳和
教科書	配布プリント	
参考図書	1. リハビリテーション医学テキスト 三上真弘・他（編） 南江堂 2. リハビリテーション基礎医学 上田敏・他（編） 医学書院	
成績評価	定期試験80%、授業中の課題（20%）を総合して認定する。	
オフィスアワー	講義後質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門 基礎	リハビリテーション概論	講義	1	15	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	宮本 謙三：博士（医学） 理学療法士					実務経験のある 教員による科目	
	宅間 豊：博士（保健学）理学療法士 土佐リハビリテーションカレッジ						
授 業 概 要							
本邦は人口構造の高齢化、慢性疾患の相対的増加、医療・福祉・保健の需要増大の状況に直面し、リハビリテーションの需要は年々拡大の一途をたどっている。そのような状況においてリハビリテーションを正しく捉え理解するために、その思想と概念、対象、方法論などを歴史的な変遷をふまえて概説する。また、リハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の位置づけと役割、情勢などについても概説する。							
学 習 目 標							
1. リハビリテーションの思想や概念を説明できる。 2. リハビリテーションチームに参画する専門職を説明できる。 3. 障害レベルに応じたリハビリテーションの基本的アプローチを説明できる。 4. 障害の理論的枠組みを説明できる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☒ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐					○	
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	第1章 リハビリテーションとは① リハビリテーションの語源、歴史的背景 定義、理念、目標、分野 事前学習（2時間）：リハビリテーションの語源について調べておくこと。 事後学習（2時間）：リハビリテーションと戦争の歴史について考察すること。					宅間 豊	
2	第1章 リハビリテーションとは② リハビリテーション医学、医学的リハビリテーションの手段、構成員 事前学習（2時間）：リハビリテーションの専門職を調べておくこと。 事後学習（2時間）：理学療法士と作業療法士の役割を確認すること。					宅間 豊	
3	第2章 障害の理論的構造① 国際障害分類（ICIDH）による障害モデル 事前学習（2時間）：国際障害分類についてあらかじめ学修すること。 事後学習（2時間）：障害モデル作成してみること。					宅間 豊	
4	第2章 障害の理論的構造② 国際生活機能分類（ICF）による生活機能モデル 事前学習（2時間）：国際生活機能分類をあらかじめ学修すること。 事後学習（2時間）：生活機能モデルを作成してみること。					宅間 豊	
5	第3章 リハビリテーションの活躍の場① 医学的リハビリテーションに関わる職種、チーム医療、多職種連携の重要性 事前学習（2時間）：医療職にはどんな職種があるか確認しておくこと。 事後学習（2時間）：在宅医療の現状について調べてみること。					宮本 謙三	

6	第3章 リハビリテーションの活躍の場② 介護保険分野及び健康増進分野におけるリハビリテーションの役割 事前学習（2時間）：介護保険制度について調べておくこと。 事後学習（2時間）：医療保険制度の国際比較を確認すること。	宮本 謙三
7	第3章 リハビリテーションの活躍の場③ 小児・精神・司法分野におけるリハビリテーションの役割 事前学習（2時間）：障害児教育の歴史を調べておくこと。 事後学習（2時間）：精神科医療の問題点を整理すること。	宮本 謙三
8	第3章 リハビリテーションの活躍の場④ 職業的リハビリテーション、災害リハビリテーション 事前学習（2時間）：近年の自然災害を調べておくこと。 事後学習（2時間）：社会保障制度を整理すること。	宮本 謙三
教科書	1. 国際生活機能分類 ICFの理解と活用 第2版 上田敏（著） 萌文社 2. 配布プリント	
参考図書	1. リハビリテーションの思想—人間復権の医療を求めて— 上田敏（著） 医学書院 2. セラピストのための概説リハビリテーション 嶋田智明（編） 文光堂	
成績評価	中間試験50%、期末試験50%で評価する。	
オフィスアワー	水曜日 5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		

専門科目
(作業療法学専攻)

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	作業療法学概論	講義	1	30	1	前期
担 当 教 員							
科目責任者	宮口 英樹：博士（保健学） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
作業療法概論は、入学後、初めて受ける専門科目の一つである。作業療法に関する入門科目として、その概略を理解するためリハビリテーションの中の作業療法歴史から評価・治療までを広く解説し、社会全体における作業療法の役割について理解する。作業療法学士を目指す4年間の学習の動機づけにつなげていく。							
学 習 目 標							
1. 作業療法の歴史を理解し、理学療法をとりまく組織、法律や制度について説明できる。 2. 作業療法における評価プロセス・項目を説明できる。 3. 作業療法の手段について説明することができる。 4. 作業療法の実践課程を理解することができる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☐ CP5 ☒ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐					主要授業科目	
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐					○	
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
1	オリエンテーション 作業療法の面白さ、深さ、広さの発見について解説する。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、各自で作業療法について調べておくこと。 事後学習（30分）：作業療法士に関する情報を資料やHPなどで確認すること。					宮口 英樹	
2	作業療法の定義 作業療法の原理、対象と適応、理論について解説する。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、作業療法の定義や理学療法の定義との比較を確認しておくこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組み、提出すること。					宮口 英樹	
3	作業療法士の仕事Ⅰ 作業療法士にとって必要な知識・技術、態度について解説する。 事前学習（30分）：必要なと思われる医療職の態度について熟考しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画を確認し、内容をまとめておくこと。					宮口 英樹	
4	作業療法士の仕事Ⅱ 作業療法の位置づけ、歴史的変遷、方向性について解説する。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み今までの講義内容も含めて作業療法士としての仕事について各自熟考しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画を確認し、内容をまとめておくこと。					宮口 英樹	
5	作業と健康の捉え方 健康に寄与するための作業療法の役割について解説する。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、健康とはどのような状態なのか熟考し まとめておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画を確認し、内容をまとめておくこと。					宮口 英樹	

6	作業療法の成り立ち 作業療法理論について解説します。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、作業療法理論の概略を調べておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画を確認し、内容をまとめておくこと。	宮口 英樹
7	基礎科学と作業療法 作業科学としての作業療法について解説します。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、科学の定義について熟考しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画を確認し、内容をまとめておくこと。	宮口 英樹
8	応用科学と作業療法 様々な分野と作業療法の関係性について解説します。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、科学と作業療法の関係について熟考しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画を確認し、内容をまとめておくこと。	宮口 英樹
9	作業療法の専門分野（身体機能） 身体機能分野における作業療法過程について解説します。 事前学習（30分）：事前に提示する症例動画を確認し、参考資料を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画・資料を確認し、まとめておくこと。	宮口 英樹
10	作業療法の専門分野（精神機能） 精神機能分野における作業療法過程について解説します。 事前学習（30分）：事前に提示する症例動画を確認し、参考資料を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画・資料を確認し、まとめておくこと。	宮口 英樹
11	作業療法の専門分野（発達過程） 発達過程分野における作業療法過程について解説します。 事前学習（30分）：事前に提示する症例動画を確認し、参考資料を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画・資料を確認し、まとめておくこと。	宮口 英樹
12	作業療法の専門分野（地域行政） 地域・行政分野における作業療法過程について解説します。 事前学習（30分）：事前に提示する症例動画を確認し、参考資料を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：提示する動画・資料を確認し、まとめておくこと。	宮口 英樹
13	障害体験 障害を持った人の立場を理解するため、障害体験を通じて理解を深める。 事前学習（30分）：事前に提示する症例動画を確認し、参考資料を熟読しておくこと。 事後学習（30分）：講義後にも障害体験を実践してみること。	宮口 英樹
14	障害体験ディスカッション 障害体験を通じて感じたことをグループでのディスカッションを通じて他者の意見を確認する。 事前学習（30分）：ディスカッション内容を確認し、考えをまとめておくこと。 事後学習（30分）：グループで内容をまとめること。	宮口 英樹
15	全体の復習、まとめ 今までの講義のまとめと作業療法の発展に向けて必要なことを解説する。 事前学習（30分）：グループ発表ができるように練習しておくこと。 事後学習（30分）：各グループで内容をまとめ提出すること。	宮口 英樹
教科書	1. 標準作業療法学 作業療法学概論第3版 医学書院 2. 配布プリント	
参考図書	適宜講義内で紹介する。	
成績評価	定期試験80%、講義中の課題20%にて評価する（100%）	

オフィスアワー	水曜日 5時限目。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	
実務経験のある 教員による授業	宮口英樹 実務経験：平成元年年4月～平成8年3月 奈良県心身障害者リハビリテーションセンター（現 奈良県総合 リハビリテーションセンター）に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(保健学)の学位を有しており、講義は、リハビリテーションセンターでの臨床経験およ び教育・多領域にわたる研究経験に基づいて行う。

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	基礎作業学	演習	1	15	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者		稲富 惇一：博士（医学） 作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ	実務経験のある 教員による科目				
			○				
授 業 概 要							
作業学成立の歴史的背景と、作業学の構造を理解し、作業活動を臨床場面で治療手段として用いるために必要な知識を学ぶ。具体的には、「作業活動」が身体・精神に与える影響や、素材や道具、場、集団など様々な作業活動が持つ特性や意味について理解していく。また、革細工を実践することで、作業が身体とところにもたらす効果について体験する。							
学 習 目 標							
1.作業活動と人の生活、健康、文化との関係を説明できる。 2.作業活動の段取りや準備が主体的に実施できる。 3.作業活動に伴うリスク管理や道具のメンテナンスができる。 4.作業療法における作業活動の意味を理解し説明することができる。 5.計画性をもって決められた時間内で達成できる。 6.仲間と協働し、助け合いながら取り組むことができる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☐ CP5 ☒ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	作業とは(語源・分類) 作業の定義、語源、分類について解説します。 事前学習（2時間）：シラバスの確認と基礎作業学の復習をしておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料にて復習し、まとめておくこと。						稲富 惇一
2	生活行為・ライフサイクル 生活の中での作業、ライフサイクルによる作業の変化について解説します。 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料にて復習しておくこと。						稲富 惇一
3	ひとと作業①(脳と作業、手と作業) 作業を分析する上での脳科学や手の役割について解説します。 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料・参考資料にて包括的作業分析について復習しておくこと。						稲富 惇一
4	ひとと作業②(身体と作業、ところと作業) 作業を分析する上での身体とところの役割について解説します。 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、芳香剤作りの作業手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：作業分析のチェックリストを完成させること。						稲富 惇一
5	ひとと作業③(学修と作業、コミュニケーションと作業) 作業を分析する上でのコミュニケーションの役割について解説します。 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、用語の意味などを調べておくこと。 事後学習（2時間）：配布資料・参考資料にて限定的作業分析について復習しておくこと。						稲富 惇一

6	革細工の実践① 革細工作成の実践体験を行う。 事前学習（2時間）：事前配布資料を確認し、絵手紙作成の作業手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：作業体験したことをまとめて提出すること。	稲富 惇一
7	革細工の実践② 革細工作成の実践体験を行う。 事前学習（2時間）：作業手順を確認しておくこと。 事後学習（2時間）：作業分析のチェックリストを完成させること。	稲富 惇一
8	革細工の実践③・まとめ 革細工作成の実践体験をディスカッションし、発表する。 事前学習（2時間）：グループでディスカッションし、各自発表準備をしておくこと。 事後学習（2時間）：発表内容をまとめて提出すること。	稲富 惇一
教科書	標準作業療法学 基礎作業学 第3版 医学書院	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	レポート課題（70%）、まとめ発表（30%）の内容を総合的に評価	
オフィスアワー	外部講師のためオフィスアワーは設定しません。講義後質問を受けつけます。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	稲富 惇一 実務経験：平成23年4月～平成29年3月 森ノ宮病院に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、一般病院での身体領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	作業療法評価学	講義	1	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	箭野 豊：修士（医科学） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
						○	
授 業 概 要							
作業療法にとって評価は欠くことのできない重要な過程である。本講義では評価を基盤として展開され作業療法の一連の過程を把握することより、評価の意義と目的を学習する。さらに、評価の基礎となる医療情報収集と記録方法（面接技法や診療記録記載方法など）や、リスク管理のために最低限必要なvital signを実技も含めて講義する。							
学 習 目 標							
1.作業療法における評価の意義・目的を理解する。 2.作業療法評価の一連の過程・構成要素・思考過程を理解する。 3.作業療法評価の代表的な検査・測定項目を理解する。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☐ CP5 ☒ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☐ DP5 ☒ DP6 ☐ DP7 ☐						○
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	作業療法評価の基礎 作業療法評価の意義・目的、進め方について 事前学習（30分）：シラバスの確認と基礎作業学の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：配布資料にて復習し、まとめておくこと。						箭野 豊
2	作業療法評価プロセス 評価の構成要素（検査測定、統合と解釈、問題点の抽出など）について解説します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲をを事前に読み、用語などを調べておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。 該当する教科書の範囲を復習し、まとめておくこと。						箭野 豊
3	評価の基本：情報収集 疾病に関する情報、問診・視診・触診について解説します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲をを事前に読み、用語などを調べておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。 該当する教科書の範囲を復習し、まとめておくこと。						箭野 豊
4	各種検査・測定について 理学療法評価で使用する評価の種類について 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲をを事前に読み、用語などを調べておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。 該当する教科書の範囲を復習し、まとめておくこと。						箭野 豊

5	意識障害・全身状態の評価 意識障害、栄養状態、フレイルの評価について解説します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲をを事前に読み、用語などを調べておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。 該当する教科書の範囲を復習し、まとめておくこと。	箭野 豊
6	医療面接と情報収集① カルテの見方、情報収集項目、注意点、手順について解説します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲をを事前に読み、用語などを調べておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。 該当する教科書の範囲を復習し、まとめておくこと。	箭野 豊
7	医療面接と情報収集② 医療面接の実践としてグループで情報の取り方を実践します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲をを事前に読み、用語などを調べておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習しておくこと。	箭野 豊
8	vital signの測定・評価 vital signの測定・評価方法について、また正常・異常値について解説します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲を事前に読み、生理学Ⅱ・生理学演習の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習しておくこと。	箭野 豊
9	vital signの測定・評価の実技① 脈拍、血圧について、グループで実践します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲を事前に読み、生理学Ⅱ・生理学演習の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習しておくこと。	箭野 豊
10	vital signの測定・評価の実技② 呼吸器・循環器の検査について、グループで実践します。 事前学習（30分）：配布資料と該当する教科書の範囲を事前に読み、生理学Ⅱ・生理学演習の復習をしておくこと。 事後学習（30分）：配布した資料を確認すること。学習した実技手技に関して身につけることができるように繰り返し復習しておくこと。	箭野 豊
11	カルテ記載法 カルテ記載法（SOAP）について解説します。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読んでおくこと。 事後学習（20分）：教科書・講義資料を復習すること。	箭野 豊
12	検査・測定から統合と解釈 検査・測定から統合と解釈に結びつける思考過程を解説します。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読んでおくこと。 事後学習（30分）：提示するGoogleフォームでの課題に取り組むこと。 事例に対する統合と解釈を完成させること。	箭野 豊
13	問題点抽出とゴール設定 問題点抽出とゴール設定のポイントを解説します 事前学習（30分）：配布資料を事前に読んでおくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。	箭野 豊

14	臨床推論 臨床推論clinical reasoningの重要性について解説します。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読んでおくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。	箭野 豊
15	まとめ 各種の評価法や思考過程の理解を深め、臨床における理学療法のプロセスについて解説する。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読んでおくこと。 事後学習（30分）：紹介する疾患に関する動画を確認すること。	箭野 豊
教科書	1. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院 2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社	
参考図書	適宜紹介します。	
成績評価	定期試験・口頭・実技試験80%、講義への出席状況や授業態度20%にて評価する（100%）	
オフィスアワー	月曜日 5限。講義後質問を受けつけます。 また担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある 教員による授業	箭野 豊 実務経験：平成11年4月～平成17年3月 富士温泉病院に作業療法士として勤務 平成17年4月～平成18年3月 山梨県立富士ふれあいセンターに作業療法士として勤務 平成19年4月～平成26年9月 石川病院（現 HITO病院）に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(医科学)の学位を有しており、講義は、一般病院の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。	

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	専門	身体機能評価学実習	実習	1	30	1	後期
担 当 教 員							
科目責任者	桂 雅俊：経営修士（専門職） 作業療法士					実務経験のある 教員による科目	
	稲富 惇一：博士（医学） 作業療法士 土佐リハビリテーションカレッジ					○	
授 業 概 要							
身体機能評価学演習では、作業療法評価の一部分である形態評価（メジャーメント）、関節可動域や筋力検査、整形外科疾患検査について学修する。各検査・測定の基本手技のみならず、その記録方法や臨床的な意義について対象者を評価する目的などを学習する。骨・関節系の画像評価の理解を深める。							
学 習 目 標							
1. 検査・測定に必要なランドマークや注意点を理解できる。 2. 姿勢アライメントの正常と異常を知り、作業療法との関連性について理解する。 3. 関節可動域検査や筋力検査などの目的・適応を理解し、基本的手技ができる。 4. 骨関節系の画像評価を理解し、形態評価の理解を深める。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☐ CP5 ☒ CP6 ☒ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☐						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☐ DP3 ☒ DP4 ☒ DP5 ☐ DP6 ☐ DP7 ☐						
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
1	形態測定（メジャーメント） 四肢長・周径の測定を疾患の知識を交えて解説する。 事前学習（30分）：シラバスを確認し、必要な道具（メジャーなど）を準備してください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習すること。						桂・稲富
2	姿勢・アライメント 異常姿勢の原因、姿勢評価の意義・手順について解説する。 事前学習（30分）：提示するキーワードを確認しておくこと。関連する解剖学Ⅰ・骨学筋学Ⅰの復習をしておくてください。 事後学習（30分）：講義資料・関連資料で復習し、実践できるように学習すること。						桂・稲富
3	姿勢評価・形態測定の実技① 四肢長・周径、姿勢・アライメントの測定を模擬症例を提示し、実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、上肢・下肢のランドマーク、筋について解剖学・骨学筋学について復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。						桂・稲富
4	関節可動域検査 上肢① 上肢の関節可動域検査を実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、上肢に関する解剖・運動学を復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。						桂・稲富

5	関節可動域検査 上肢② 上肢の関節可動域検査を実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、上肢に関する解剖・運動学を復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
6	関節可動域検査 下肢① 下肢の関節可動域検査を実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、下肢に関する解剖・運動学を復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
7	関節可動域検査 下肢② 下肢の関節可動域検査を実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、下肢に関する解剖・運動学を復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
8	関節可動域検査 体幹・その他 体幹・その他の関節可動域検査を実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、体幹に関する解剖・運動学を復習しておくこと。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
9	筋力検査1 上肢① 肩関節・肘関節の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
10	筋力検査2 上肢② 手関節・手指周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
11	筋力検査3 下肢① 股関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
12	筋力検査5 下肢② 膝関節・足関節周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富

13	筋力検査 6 体幹・顔面 体幹・顔面周囲筋の筋力検査を、グループ学習で実技を行う。 事前学習（30分）：配布資料・該当する教科書を事前に読み、筋名・起始停止、神経支配などを学習しておいてください。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
14	整形外科疾患検査 整形外科疾患検査を実技を含めグループ学習を通して行う。 事前学習（30分）：提示するキーワードを確認しておくてください。関連する疾患の病態を復習をしておくこと復習をしておくてください。 事後学習（30分）：講義内で実践したことが定着できるように、繰り返し評価してみてください。	桂・稲富
15	画像評価（骨・関節系） 骨関節疾患の画像評価（X線・MRI）について解説し、読影ができるように多くの画像をグループディスカッションを通して行う。 事前学習（30分）：配布資料を事前に読み、疾患に関して学習し、画像の読影方法を確認しておくこと。 事後学習（30分）：様々な画像評価ができるように参考書籍や参考文献を確認してみてください。 定期試験・口頭・実技試験に向けて学習すること。	桂・稲富
教科書	1. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院 2. PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社 3. 新・徒手筋力検査法 第10版 Dale Avers、Marybeth Brown 協同医書出版	
参考図書	1. 標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻 画像評価 医学書院 2. 病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 MEDIC MEDIA	
成績評価	定期試験（50％）、口頭・実技試験（50％）により認定する。	
オフィスアワー	桂：火曜日 5限。講義後も質問を受けつけます。 また、各担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。	
留意事項		
実務経験のある教員による授業	桂 雅俊 実務経験：平成23年4月～平成27年3月 あさひ病院に作業療法士として勤務 平成27年4月～平成31年3月 総合病院回生病院に作業療法士として勤務 担当教員は、修士(経営学)の学位を有しており、実習は、一般病院での身体領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。 稲富 惇一 実務経験：平成23年4月～平成29年3月 森ノ宮病院に作業療法士として勤務 担当教員は、博士(医学)の学位を有しており、実習は、一般病院での身体領域の多彩な臨床経験および教育・研究経験に基づいて行う。	

統合科目 (作業療法学専攻)

履修	科目 区分	授 業 科 目	授業 形態	単位数	時間数	配当 年次	学期
必修	総合	早期臨床体験実習	実習	1	45	1	通年
担 当 教 員							
科目責任者	畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊					実務経験のある 教員による科目	
授 業 概 要							
1年次に早期臨床体験実習として前後期通じて医療機関等において計1週間の実習を行う。臨床現場の見学を通して対象者や施設・医療スタッフに対して適切な態度で接すること、診療チームの一員としての作業療法士や他職種の役割について学修する。また、社会人・専門職としての職業意識や倫理観、コミュニケーション能力などを身につける。自身の将来像をイメージし、学内での学習が臨床場面でどのように活用されるのか理解することで学内の学習の動機づけにつなげることを目的とする。							
学 習 目 標							
1. 社会人・医療人としてのマナーを実践する。 2. リハビリテーション施設における作業療法士の役割や業務内容を理解し、倫理観を身につける。 3. 作業療法士と関わる他の関連職種についての役割や業務内容も理解する。 4. 作業療法士を目指すにあたっての自己適性を理解し、今後の能動的な学習に繋げる。 5. 見学した内容を記録し、他者に伝えることができる。							
対応CP	CP1 ☒ CP2 ☒ CP3 ☐ CP4 ☐ CP5 ☐ CP6 ☐ CP7 ☐ CP8 ☐ CP9 ☒						主要授業科目
対応DP	DP1 ☐ DP2 ☒ DP3 ☒ DP4 ☒ DP5 ☒ DP6 ☒ DP7 ☐						
授 業 計 画							
	内 容						担当教員
実 習 計 画	1) 実習オリエンテーション 実習の目的や到達目標、実習生としての役割と責務、注意事項などについて説明する。 2) 臨地実習 実習指導者 および引率教員のもと、リハビリテーション施設における作業療法士や作業療法士以外の医療従事者の業務内容を見学する。可能な範囲で一部業務内容についても体験する。見学ならびに体験した内容について、臨床実習ポートフォリオや臨床実習チェックリストに記録する。記録したものを実習指導者や引率教員と共有し、必要に応じて議論する。 3) 成果報告会 本実習を通して、経験したこと、学んだこと、今後の課題等を振り返り、臨床実習成果報告書を作成する。作成した報告書を用いて、成果報告会で報告する。成果報告会を通して、文章作成能力や説明能力の向上、理解の深化を促すとともに、本実習における学習の到達度を評価する。						全員

授業時間外学習（事前事後の予習復習）	
施設実習前には、学修目標を立てること。実習後に見学した内容をポートフォリオにまとめる。 授業時間外学習は、施設実習指導者・巡回教員と相談しながら進めること。	
教科書	学内で使用している教科書すべて
参考図書	「臨床実習の手引き」を配付する
成績評価	巡回教員の評価（40％）施設指導者からのコメント内容（30％）、成果報告書のプレゼンテーション（20％）、ポートフォリオ（10％）とを総合的に判定する。
オフィスアワー	畑田：火曜日 5限、片岡・箭野：月曜日 5限、萩原・桂：金曜日 5限。適時受け付けます。 また、担当教員の電子メールを利用し、事前にアポイントメントを取ってください。
留意事項	

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目 区分			授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
							必 修	選 択	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習		
教養 基礎 科目	初 年 次 科 目	10011	ラーニングリテラシー	1前		15	1			○		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、石附智奈美、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二近藤 寛、渡邊 家泰、桂 雅俊	共同
		10021	情報リテラシー	1前		15	1			○		竹林 秀晃、近藤 寛、渡邊 家泰、稲富 惇一	共同
		10031	初年次IPE演習	1前		15	1			○		宮口 英樹、竹林 秀晃、榎 勇人、川村 博文、宮本 謙三、石附智奈美、宮本 祥子、岡部 孝生、奥田 教宏、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二近藤 寛、渡邊 家泰、桂 雅俊	共同
	人 間 の 探 求	10041	人間科学概論	1前		30	2		○			李 賢珠：博士(文化人類学)＜非常勤講師＞	
		10051	心理学	1後		30	2		○			繁桝 博昭：博士(心理学)高知工科大学 ＜非常勤講師＞ 島根 大輔：博士(心理学)高知工科大学 ＜非常勤講師＞ 伊崎 翼：博士(学術)高知工科大学 ＜非常勤講師＞	
		10061	生命倫理学	1前		15		1	○			岩佐 光広：博士(学術) 高知大学 准教授 ＜非常勤講師＞	
		10071	医療人類学	1後		15		1	○			李 賢珠：博士(文化人類学)＜非常勤講師＞	
	社 会 の 探 求	10081	社会学概論	1前		30	2		○			秋谷 公博：博士(国際地域学)高知県立大学 准教授 ＜非常勤講師＞	
		10091	情報と社会	1後		15	1		○			兵頭 勇己：博士(医学) 高知大学 助教 ＜非常勤講師＞	
		10101	法律と社会	1後		15		1	○			村岡 晃：高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 企業長 ＜非常勤講師＞	
		10111	教育と社会	1後		15		1	○			石山 貴章：博士(社会福祉学)高知県立大学 教授 ＜非常勤講師＞	
	自 然 の 探 求	10123	データサイエンス	3前		30	2		○			兵頭 勇己：博士(医学)＜非常勤講師＞ 高知大学 助教 ＜非常勤講師＞	
		10131	災害と共に生きる	1前		15	1		○			原 忠 ：博士(工学)高知大学 准教授 ＜非常勤講師＞	
		10141	ライフサイエンス生物学	1前		15		1	○			大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 ＜非常勤講師＞	
		10151	バイオメカニクス	1後		15		1	○			榎 勇人	
	言 語 の 探 求	10161	基礎英語	1前		30	2		○			宮本 祥子	
		10171	コミュニケーション論	1前		15	1			○		筒井典子：修士(学術) 人・みらい研究所 代表 ＜非常勤講師＞ 中村 寛：人・みらい研究所 ＜非常勤講師＞	共同
		10181	コミュニケーション英語	1後		15		1		○		李 賢珠：博士(文化人類学)＜非常勤講師＞ 福江 満子：修士(教育学)＜非常勤講師＞	
		10191	異文化コミュニケーション(中国語)	1後		15		1		○		岡崎 桂禎：高知県国際交流協会 ＜非常勤講師＞	
	保健体育	10201	スポーツ実践	1前		30	2				○	神家 一成：高知大学名誉教授 ＜非常勤講師＞	
	小計（20科目）			－	－		18	8	－				
専 門 基 礎 科 目	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 基 礎 医 学	11011	解剖学Ⅰ	1前	○	30	2		○			大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 ＜非常勤講師＞	
		11021	解剖学Ⅱ	1後	○	30	2		○			大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授 ＜非常勤講師＞	
		11031	骨学筋学Ⅰ	1前		15	1			○		岡部 孝生	共同
		11041	骨学筋学Ⅱ	1後		15	1			○		岡部 孝生	共同
		11042	体表解剖学	2前		15	1			○		岡部 孝生	
		11052	組織学	2後		15	1			○		大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授＜非常勤講師＞	
		11061	生理学Ⅰ	1前	○	30	2		○			椛 秀人	
		11071	生理学Ⅱ	1後	○	30	2		○			椛 秀人	
		11081	生理学演習Ⅰ	1前		15	1			○		近藤 寛、渡邊 家泰	共同
		11091	生理学演習Ⅱ	1後		15	1			○		近藤 寛、渡邊 家泰	共同
		11103	応用解剖生理学	3後		15	1		○			椛 秀人、岡部 孝生	オムニバス
		11111	身体運動学Ⅰ	1前	○	30	2		○			宮本 謙三、井上 佳和	
		11121	身体運動学Ⅱ	1後	○	30	2		○			宮本 謙三、井上 佳和	
		11132	運動生理学	2前		30	2		○			宅間 豊	
		11141	人間発達学	1前		30	2		○			宮本 謙三	
		11142	脳科学概論	2後		30	2		○			繁桝 博昭：博士(心理学)高知工科大学 ＜非常勤講師＞ 竹田昂典：博士(医学)高知工科大学 ＜非常勤講師＞ 門田 宏：博士(学術)＜高知工科大学 ＜非常勤講師＞	
		11152	医学英語	2前		15	1		○			宮本 祥子	
			小計（17科目）	－	－		26		－				

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
						必 修	選 択	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習		
専門基礎科目	臨床医学	11161 リハビリテーション医学	1後		15	1		○			井上佳和	
		11171 病理学	1後		30	2		○			椋 清美：博士（保健学）高知学園大学 <非常勤講師>	
		11182 内科学	2前		30	2		○			小島 研介：高知大学 <非常勤講師> 船越 生吾：高知大学 <非常勤講師> 田口 崇文高知大学 <非常勤講師> 刑部 有紀：高知大学 <非常勤講師> 猪谷 哲司：高知大学 <非常勤講師> 平野 世紀：高知大学 <非常勤講師> 岩崎 信二：博士(医学) 土佐田村病院副院長 消化器内科	オムニバス
		11192 神経内科学	2後		30	2		○			森田ゆかり：高知大学 <非常勤講師> 大崎 康史：高知大学 <非常勤講師> 橋本 侑 ：高知大学 <非常勤講師> 田辺 裕久：朝倉病院 理事長 山崎 直仁：高知大学 <非常勤講師> 馬場 裕一：高知大学 <非常勤講師> 北岡 裕章：高知大学 <非常勤講師>	
		11202 整形外科学	2前		30	2		○			宅間 豊 池内 昌彦：博士(医学) 高知大学 <非常勤講師>	オムニバス
		11212 精神医学	2前		30	2		○			戎 正司：近森病院 総合診療センター 藤田博一：高知大学医学部附属医学教育創造センター<非常勤講師> 玉元 徹：南国病院<非常勤講師> 藤戸良子：高知大学医学附属病院<非常勤講師> 赤松正規：高知大学医学部附属病院<非常勤講師>	オムニバス
		11222 小児科学	2後		30	2		○			島崎 洋成：医学博士 田野病院 <非常勤講師>	
		11232 臨床心理学	2後		30	2		○			鹿間 淳史：修士(児童学)高知ハーモニーホスピタル <非常勤講師>	
		11243 臨床栄養学	3前		15	1		○			大坪 豊寿：田中整形外科病院 <非常勤講師>	
		11253 臨床薬理学	3前		15	1		○			長崎 大武：プラス薬局 <非常勤講師>	
		11263 救急救命処置演習	3後		15	1			○		武田 陽平：高知赤十字病院 <非常勤講師>	
		小計（11科目）	－	－		18		－				
	保健医療福祉	11271 リハビリテーション概論	1前	○	15	1		○			宮本 謙三、宅間 豊	オムニバス
		11282 健康科学概論	2前		30	2		○			宮口 英樹、川村 博文	オムニバス
		11292 社会福祉学概論	2後		30	2		○			稲垣 佳代：修士(社会福祉学) 高知県立大学 <非常勤講師>	
		11303 災害リハビリテーション	3後		15	1			○		森下 誠也：修士(医科学) 田野病院 <非常勤講師> 淡野 義長：長崎医療技術専門学校 校長 <非常勤講師>	オムニバス
		11314 国際リハビリテーション学	4前		15	1		○			宮口 英樹、椋 秀人、榎 勇人、竹林 秀晃、石附智奈美、玉垣 努、 奥田 教宏、宮本 祥子	オムニバス
		11323 福祉住環境論	3前		15	1			○		井上 佳和、稲富 惇一	共同
		小計（6科目）	－	－		8		－				
	小計（34科目）		－			52		－				

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考
						必 修	選 択	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習		
専門科目（作業療法学専攻）	基礎 作業 療法 学	32011 作業療法学概論	1前	○	30	1		○			宮口 英樹	
		32021 基礎作業学	1後		15	1			○		稲富 惇一	
		32032 基礎作業学実習	2前		30	1				○	萩原 賢二 西邨 出：株式会社 陽和工房 房主 <非常勤講師>	オムニバス
		32042 作業分析学	2前		15	1		○			畑田 早苗、萩原 賢二	オムニバス
		32054 作業療法管理学	4前		15	1		○			玉垣 努、片岡 聡子	オムニバス
		32063 作業療法教育学	3後		15	1		○			片岡 聡子	
		小計（6科目）	－	－		6		－				
	評価 作業 療法 学	32071 作業療法評価学	1後	○	30	1		○			箭野 豊	
		32082 作業療法評価学実習	2後		30	1				○	萩原 賢二、稲富 惇一	共同
		32091 身体機能評価学実習	1後		30	1				○	桂 雅俊、稲富 惇一	共同
		32102 精神機能評価学実習	2前		30	1				○	畑田 早苗、萩原 賢二	共同
		32112 神経機能評価学実習	2前		30	1				○	片岡 聡子、箭野 豊	共同
		32122 発達機能評価学実習	2後		30	1				○	石附智奈美	
		小計（6科目）	－	－		6		－				
	作業 療法 学 専 攻	32132 身体機能作業療法学Ⅰ	2前	○	30	1		○			片岡 聡子	
		32142 身体機能作業療法学Ⅱ	2後		30	1		○			國友 晃：愛宕病院<非常勤講師>	
		32153 身体機能作業療法学実習	3前		30	1				○	片岡 聡子、玉垣 努、箭野 豊	オムニバス 共同(一部)
		32162 高次脳機能作業療法学	2後		30	1		○			稲富 惇一	
		32172 精神機能作業療法学Ⅰ	2前	○	30	1		○			畑田 早苗	
		32182 精神機能作業療法学Ⅱ	2後		30	1		○			畑田 早苗	
		32193 精神機能作業療法学実習	3前		30	1				○	畑田 早苗	
		32203 運動器作業療法学	3前		30	1		○			玉垣 努、桂 雅俊	オムニバス
		32213 高齢期作業療法学	3後		30	1		○			萩原 賢二、桂 雅俊	オムニバス
		32223 発達過程作業療法学	3前	○	30	1		○			石附智奈美	
		32233 発達過程作業療法学実習	3後		30	1				○	石附智奈美、稲富 惇一	共同
		32243 内部機能作業療法学	3後		30	1		○			大重 匡、安岡 希和	オムニバス
		32252 日常生活活動学	2後		30	1		○			桂 雅俊	
		32263 日常生活活動学実習	3前		30	1				○	玉垣 努、桂 雅俊	共同
		32273 義肢装具学	3前		30	1		○			石井 誠二：博士(医学) 総合病院回生病院<非常勤講師>	
		32282 生活行為向上マネジメント演習	2後		15	1			○		桂 雅俊、稲富 惇一	共同
		32293 職業関連活動学	3後			1			○		桂 雅俊、玉垣 努、畑田 早苗、石附智奈美	オムニバス 共同(一部)
		小計（17科目）	－	－		17		－				
専門科目（作業療法）	地域 作業 療法	32302 地域リハビリテーション学	2後	○	15	1		○			竹林 秀晃 滝本 幸治：博士(医学)奈良学園大学<非常勤講師>	オムニバス
		32313 地域作業療法学	3後		15	1		○			佐藤 孝臣：株式会社ライフリー <非常勤講師> 宮崎 宏興：NPO法人いねいぶる <非常勤講師>	オムニバス
		32323 多職種連携教育	3後		15	1			○		川村 博文、玉垣 努	オムニバス 共同(一部)
		小計（3科目）	－			3	0	－				
	小計（32科目）		－	－		32		－				
専門科目（両専攻）	発展 科目 A	14013 筋骨格系リハビリテーション	3前		15		1		○		管原 仁、岡部 孝生	オムニバス
		14023 認知のリハビリテーション	3前		15		1	○			石附智奈美、畑田 早苗	オムニバス
		14033 痛みのサイエンス	3前		15		1	○			奥田 教宏、岡部 孝生 大迫 洋治：博士(獣医学)高知大学 准教授<非常勤講師>	オムニバス
		14043 予防リハビリテーション	3前		15		1	○			竹林 秀晃、桂 雅俊	オムニバス
		14053 ニューロサイエンス	3後		15		1	○			竹林 秀晃、稲富 惇一	オムニバス
		14063 スポーツサイエンス	3後		15		1	○			榎 勇人、玉垣 努	オムニバス
		14073 ヘルスプロモーション	3後		15		1	○			管原 仁	
		14083 がんりハビリテーション	3後		15		1	○			近藤 寛、安岡 希和	オムニバス
		小計（8科目）	－	－			8	－				
	発展 科目 B	14093 社会自立支援技法	3前		15		1			○	宮口 英樹、畑田 早苗、萩原 賢二、渡邊 家泰	共同
		14103 児童発達支援技法	3前		15		1			○	石附智奈美、宮本 謙三、片岡 聡子、箭野 豊	共同
		14113 地域社会支援技法	3前		15		1			○	竹林 秀晃、奥田 教宏、近藤 寛、桂 雅俊	共同
		小計（3科目）	－	－			3	－				
	小計（11科目）		－	－			11	－				

教育課程等の概要（作業療法学専攻）

科目 区分			授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	時間数	単位数		授業形態			担当教員	備考	
							必 修	選 択	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習			
総合科目（作業療法学専攻）	作業療法臨床実習	36013	臨床技能演習Ⅰ	3後		15	1			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二 桂 雅俊	共同	
		36024	臨床技能演習Ⅱ	4前		15	1			○		石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二 桂 雅俊	共同	
		36031	早期臨床体験実習	1通		45	1				○	畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同	
		36042	作業療法臨床評価実習	2後	○	135	3				○	石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同	
		36053	作業療法臨床総合実習Ⅰ	3後	○	270	6				○	石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二 桂 雅俊	共同	
		36064	作業療法臨床総合実習Ⅱ	4前	○	630	14				○	石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二 桂 雅俊	共同	
		36074	作業療法地域実習	4前		45	1				○	石附智奈美、玉垣 努、畑田 早苗、片岡 聡子、箭野 豊、萩原 賢二 桂 雅俊	共同	
			小計（7科目）	－	－		27		－					
	作業療法科目	36083	作業療法特論Ⅰ	3通		15	1			○		山本 伸一：日本作業療法士協会 会長 <非常勤講師> 柏原 謙造：万成病院 <非常勤講師>	オムニバス	
		36094	作業療法特論Ⅱ	4通		15	1			○		二神 雅一：株式会社創心會 代表 <非常勤講師> 鶴見 隆彦：修士(保健学) 湘南医療大学 <非常勤講師>	オムニバス	
		36104	作業療法総合演習	4後		60	2			○		宮口 英樹、梶 秀人、玉垣 努、石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子 箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同	
			小計（3科目）	－	－		4		－					
	作業療法研究	36113	作業療法研究法	3前	○	30	1		○			箭野 豊、梶 秀人、玉垣 努、片岡 聡子、萩原 賢二、石附智奈美	オムニバス	
		36123	作業療法セミナー	3前		30	1			○		宮口 英樹、梶 秀人、玉垣 努、石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子 箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同	
		36134	卒業研究	4通	○	90	3			○		宮口 英樹、梶 秀人、玉垣 努、石附智奈美、畑田 早苗、片岡 聡子 箭野 豊、萩原 賢二、桂 雅俊	共同	
			小計（3科目）	－	－		5		－					
			小計（3科目）		－	－		36		－				
			合計（155科目）		－	－		138	19	－				
	卒業要件及び履修方法													
	<作業療法学専攻>													
①教養基礎科目「初年次科目」「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」「保健体育」の全20科目26単位から必修18単位を含む22単位以上を履修、選択科目は「人間の探求」「社会の探求」「自然の探求」「言語の探求」の8科目8単位からそれぞれ1単位以上修得する。														
②専門基礎科目「リハビリテーション基礎医学」「臨床医学」「保健医療福祉」の必修34科目52単位を修得する。														
③専門科目では、「基礎作業療法」「作業療法評価学」「作業療法治療学」「地域作業療法」の必修32科目32単位を修得する。「発展科目A」選択8科目8単位から4科目4単位、「発展科目B」選択3科目3単位から1単位修得、計37単位を修得する。														
④総合科目「作業療法臨床実習」「作業療法統合科目」「作業療法研究」の必修13科目36単位を修得する。														
⑤卒業要件単位数は、合計147単位以上を修得する。														

